

冬山情報についてのお知らせ

ここに掲載している冬山情報は、全国の都道府県警察からの報告をもとに、冬季における登山時の留意点等を取りまとめたものです。

このうち、各山岳（山系）の登山道、山小屋、ロープウェイの営業状況等に関する情報は、日々変化していますので、実際に登山される前に、次のページに掲載している「ホームページ等による山岳情報提供警察一覧」や各地の関係機関から、最新の情報を直接入手するようにお願いいたします。

「ホームページ等による山岳情報提供警察一覧」

山岳・山域別	担当警察本部等	電話番号	ホームページアドレス
	警察庁生活安全局 地域課		http://www.npa.go.jp/
利尻岳 大雪山系 十勝岳	北海道警察 旭川方面本部 地域課	0166-35-0110 内線 3543	http://www.asahikawahonbu.police.pref.hokkaido.jp/index.html
八甲田山系	青森県警察本部 地域課	017-723-4211 内線 3563	
八幡平	岩手県警察本部 地域課	019-653-0110 内線 3583	
	秋田県警察本部 地域課	018-863-1111 内線 3592	
鳥海山系	山形県警察本部 地域課	023-626-0110 内線 3562	http://www.pref.yamagata.jp/police/
蔵王山系	宮城県警察本部 地域課	022-221-7171 内線 3593	
	山形県警察本部 地域課	023-626-0110 内線 3562	http://www.pref.yamagata.jp/police/
飯豊連峰	山形県警察本部 地域課	023-626-0110 内線 3562	http://www.pref.yamagata.jp/police/
	山形県小国警察署	0238-62-0110	
	新潟県警察本部 地域課	025-285-0110 内線 3585	http://www.police.pref.niigata.jp/
	福島県警察本部 地域安全課	024-522-2151 内線 3633	http://www.police.pref.fukushima.jp/
巻機山連峰 苗場山	新潟県警察本部 地域課	025-285-0110 内線 3585	http://www.police.pref.niigata.jp/
谷川岳 草津白根山	群馬県警察本部 地域課	027-243-0110 内線 3564	http://www.police.pref.gunma.jp/
丹沢山塊	神奈川県警察本部 地域総務課	045-211-1212 内線 3532	http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm
富士山	山梨県警察本部 地域課	055-235-2121 内線 3576	http://www.pref.yamanashi.jp/police/
南アルプス	静岡県警察本部 地域課	054-271-0110 内線 3576	http://www.police.pref.shizuoka.jp/
北アルプス 中央アルプス 南アルプス 八ヶ岳	長野県警察本部 地域課	026-235-3611 (直通)	http://www.pref.nagano.jp/police/
南アルプス 八ヶ岳	山梨県警察本部 地域課	055-235-2121 内線 3576	http://www.pref.yamanashi.jp/police/
北アルプス	富山県警察本部 地域室	076-441-2211 内線 3863	http://police.pref.toyama.jp/
	岐阜県警察本部 地域課	058-271-2424 内線 3584	http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/POLICE/index.htm
大峰山系 大台山系	奈良県警察本部 地域課	0742-23-0110 内線 3575	http://www.police.pref.nara.jp/
大山	鳥取県警察本部 地域課	0857-23-0110 内線 3578	http://www.pref.tottori.lg.jp/policedaisen/
石鎚山系	愛媛県警察本部 地域課	089-934-0110 内線 3573	http://www.police.pref.ehime.jp/
	高知県警察本部 地域課	088-826-0110 内線3565	http://www.police.pref.kochi.lg.jp/
屋久島	鹿児島県 屋久島警察署	0997-46-2110 内線 290	http://www.pref.kagoshima.jp/police/index.html

平成21年冬山情報

都道府 県名	山岳(山系)名	標高(m)	情 報 内 容
北海道	利尻山	1721	<p>利尻山は、北海道北部の日本海に位置する離島の山岳で、冬季間、北西からの強い季節風の影響により、吹雪状態が日常的に続く極めて厳しい山です。</p> <p>冬季間の登山道は不明確で、2か所の避難小屋は宿泊を目的としていないので、設備は特に無く、入山には綿密な登山計画と冬山装備、熟練したクライミング技術等が必要となります。</p> <p>平成15年1月、吹雪により凍傷となり行動不能となった登山者2名が、2日間の停滞を余儀なくされ、ヘリにより救助される事故が発生しています。</p> <p>冬季の利尻山では、数日間吹雪が続くこともあり、慎重な天候判断と予備日を十分に計算した登山が求められます。</p>
北海道	羅臼岳	1660	<p>冬の知床半島の風は強烈なので、稜線上での行動は慎重に、また、急斜面での雪崩に注意してください。</p> <p>平坦部は目標物が全く無く、迷いやすいので標識旗を用意するなど十分注意してください。</p> <p>岩尾別コースは、冬季間、登山口に通じる道路(約4Km)が閉鎖されており、木下小屋も閉鎖されているため避難場所はありません。</p>
北海道	斜里岳	1545	<p>大量の降雪と強い北風が吹き、吹雪による視界不良などの厳しい気象条件のもとでの登山となります。</p> <p>急斜面での雪崩、稜線上での強風(強烈)に注意してください。</p> <p>冬季は、登山口に通じる道路(約7Km)は閉鎖されており、山小屋も閉鎖されているため避難場所はありません。</p>
北海道	雌阿寒岳	1499	<p>雌阿寒岳は活火山です。</p> <p>平成20年11月17日、火山性の連続微動を観測したことから、火山周辺警報が発表されました。</p> <p>今後、ごく小さな噴火が繰り返し発生し、場合によっては火口から約500mの範囲以内に弾道を描いて大きな噴石が飛散する可能性がありますので注意が必要です。</p>

			山頂付近では風向きにより登山ルートに噴煙が流れてくるために注意してください。
北海道	大雪山	旭岳 2290	<p>旭岳は北海道の最高峰で、冬季間、日本海側から吹きつける季節風の影響を強く受け、強風と大量の降雪により晴れる日が少なく、視界不良等から道に迷いやすい山です。</p> <p>旭岳ロープウェイ姿見駅から山頂に到る登山道は、深雪から氷雪のアイスバーンに変化するため、スキー（スノーシュー）、アイゼン、ピッケル等の装備を携行し、経験豊富なリーダーによるパーティー登山が求められます。</p> <p>旭岳ロープウェイ姿見駅から山麓駅までの旭岳スキー場は、一部誘導ポールが設置されていますが、地吹雪等による視界不良からコースアウトする危険性の高い山岳スキー場です。視界の悪いときは、滑走を自粛する賢明さが必要です。</p> <p>スキーコース以外の斜面は滑走禁止となっています。特に、盤の沢方面の急斜面は雪崩の発生しやすい危険な場所ですから、絶対に立ち入らないで下さい。</p>
北海道	トムラウシ山	2141	<p>トムラウシ山は、トムラウシ温泉ルートが一般的ですが、大雪山と十勝連邦のほぼ真ん中に位置していることから、他のコースは縦走となり、長期の登山計画と装備が必要となります。</p> <p>平成15年9月6日からトムラウシ温泉ルートのカムイ天上からコマドリ沢までのルートが変更となりました。新ルートは700m長くなっています。</p> <p>トムラウシ温泉ルートのトムラウシ公園付近は、目標物がないため迷いやすく注意が必要です。</p>
北海道	十勝岳	2077	<p>十勝岳は、冬季間、日本海側から吹きつける季節風の影響を強く受け、強風と大量の降雪により晴れる日が少なく、視界不良等から道に迷いやすい山です。</p> <p>特に、頂上下の平坦地は目標物が全くなく、地図等による慎重なルート確認が必要です。</p> <p>十勝岳中腹の62 - 火口周辺は、依然として火山活動が活発なため、前十勝岳コースの立ち入りは禁止されています。</p> <p>望岳台ルートにある十勝岳避難小屋が完成し使用できるようになりました。</p> <p>○ 平成19年11月23日、十勝岳の南西に位置する上ホロカメットク山において、11人が雪崩に巻き込まれ4人が死亡、1人が重傷となる遭難事故が発生しています。</p>

			入山者は積雪状態を把握し、慎重に行動するよう注意してください。
北海道	幌尻岳	2053	<p>幌尻岳は登山口までのアプローチが長いため、長期の登山計画を要するとともに厳しい気象条件の中での行動が余儀なくされ、万全の装備と食糧等の周到な準備が必要です。</p> <p>厳冬期は深い雪と強い風等の厳しい条件のもと、雪庇の見極めや凍結した雪面でのアイゼン歩行等の高度な技術が必要となります。</p> <p>額平コースでは、沢での雪崩、ヤセ尾根での滑落、戸蔭別コースでは、北カールとセツ沼カール付近の稜線での雪庇の踏み外しに注意が必要です。</p>
北海道	羊蹄山	1898	<p>単独峰のため、風の影響を受けやすく天候急変などに十分な注意が必要となり、安全なポイントで引き返すなどの状況判断が重要です。</p> <p>7合目から上部は冰雪となるため、アイゼンによる登頂となり、突風による滑落に十分注意が必要となります。</p>
青森県	岩木山	1625	<p>岩木山は単立の山で、厳冬期は気象の変化が著しく、強風時は秒速約30mの突風が発生し、気温は約 - 20度まで冷え込みます。</p> <p>また、大量の積雪や雪庇、雪崩、吹雪による視界不良などがあることから、十分な装備と細心の注意が必要です。</p> <p>9合目からはアイスバーン状態となっていますので、アイゼン、ピッケル等を携行する必要があります。</p> <p>平成14年1月、8合目から滑り始めたスキーヤー2名が雪崩に巻き込まれ、死亡する事故が発生しています。</p> <p>アクセス道路の通称「岩木スカイライン」は、11月上旬から翌年4月中旬まで閉鎖になっています。</p>
青森県	八甲田山	大岳 1584	<p>八甲田山の厳冬期は、強風と大量の積雪、吹雪などで地形が分かりにくいいため、冬山登山や山岳スキーには、ガイドや経験豊富なリーダーが必要です。</p> <p>平成15年2月には、山岳スキーガイドがクレバスに転落し重傷を負った事故が、平成19年2月には、スキーツアー客、ガイド等24人が雪崩に巻き込まれ、2人が死亡、8人が負傷する事故が発生しています。</p> <p>八甲田山は、山岳スキーがほとんどで、滑走可能なコースには誘導ポールやフェンスを設置していますが、毎年コース</p>

			<p>を外れて遭難する事案が多数発生しています。視界の悪い時は、特に注意して滑走してください。</p> <p>青森市内から八甲田入口の酸ヶ湯温泉までは、通年で通行可能ですが、12月中旬から翌年3月中旬までは午後9時から午前7時30分までの間、通行禁止となり、酸ヶ湯温泉から谷地温泉までは終日通行不能となります。また、青森市から田代高原を経由し、十和田湖までは通年の通行が可能ですが、11月下旬から3月までの間、時間規制があるほか、天候によっては閉鎖されますので、悪天候の時は事前に確認してください。</p>
岩手県	岩手山	2038	<p>冬の岩手山は、独立峰のため北西の季節風が強く体感温度が急激に低下するなど、3,000メートル級の北アルプスに相当する厳しい気象条件となりますので装備等に十分留意してください。</p> <p>沢沿い、焼走り及び「つるはし」上部の東面斜面では、雪崩の発生が見られますので、特に気をつけてください。また、山頂付近を中心にアイスバーン状態になりますのでアイゼン、ピッケル等冬山装備を必ず携行してください。</p> <p>過去に、岩手山焼走りコース第一噴出口上部で、滑落が原因と思われる死亡事故が発生しています。岩稜地帯での歩行の際は、転倒に注意してください。</p> <p>また、平成19年5月1日には、山頂付近で強風とみぞれ等天候の悪化で2人が凍死する遭難事故が発生しています。</p> <p>冬季間、馬返しコース8合目避難小屋及び焼走り、上坊コースの平笠不動平避難小屋は、無人となりますが利用可能です。</p> <p>【裏岩手連峰】</p> <p>岩手山から八幡平にかけての黒倉山、大松倉山、三ツ石山、大深岳、源太ヶ岳、<small>けんそもり もるびたけ もつこだけ</small>嶮岨森、諸衾岳、<small>もつこだけ</small>畚岳の標高1,600mから1,400m級の山が連なっている裏岩手連峰は、冬は北西の季節風により連日吹雪の日が多く荒天が続きます。入山に際しては、余裕を持った日程を立て、ルート確認のための地図、磁石、GPS、ビーコン等の携行を絶対守って、位置確認を怠らずに行動してください。また、吹雪やガス等の天候での行動は慎重を期してください。</p> <p>網張スキー場から入りやすい三ツ石山周辺も天候によっては、方向確認に注意が必要です。網張に戻る予定が、間違つて松川温泉側の沢に迷い込んだ事例があります。</p> <p>源太ヶ岳東面は、大規模な雪崩の発生が見られ、最近2件</p>

			<p>の雪崩遭難死亡事故が発生し、尊い命が奪われています。この斜面には近づかないようルート選定に注意してください。</p> <p>嶮岨森、諸桧岳付近にも雪庇の張り出しが見られるので注意して行動してください。</p>
岩手県	早池峰山	1917	<p>早池峰山の河原坊登山道に通じる県道紫波・川井線は登山口の花巻市大迫町側 6 kmの地点から冬季間（11月20日（金）から翌年 5 月下旬までの間）通行止めとなります。</p> <p>早池峰山は、冬の入山規制はされていませんが、登山道は東北地方では珍しく岩場が連続し、積雪がある冬季間は、雪庇又は凍結による浮き石等で非常に危険な状態となります。</p> <p>冬季間、山頂避難小屋及びうすゆき山荘（河原坊登山口より花巻市大迫町側約 1 km）は無入山ですが利用可能です。</p>
岩手県 秋田県	八幡平	1613	<p>冬の八幡平は、北西の季節風が強く、荒天時には視界ゼロとなり、特に源太森からは気象条件が一段と厳しく、加えて目標物が少ないことからリングワンデルングに陥る危険があります。必ず、地図、磁石、GPS等で位置確認を行いながら行動してください。</p> <p>また、年によってドカ雪が降るなど降雪量が多く厳しいラッセルとなりますので単独行や少人数での入山は避けてください。</p> <p>気温は日中でも - 20度以下、夜間には - 30度になることがあります。</p> <p>茶臼岳から前山経由で旧もみやま荘へのコースでは、登山時、下山時とも雪崩に注意してください。</p> <p>年によって、深雪やアイスバーンになるなどコースの状態が大きく変化しています。入山に際しては情報の入手と冬山の知識と経験、装備が必要です。</p> <p>最近、茶臼岳東側の恵比寿沢周辺で、雪崩が原因と思われる死亡事故が 2 件発生し 2 人のスノーボーダーが遭難死しています。</p> <p>岩手県側から八幡平山頂までツアーコースがありますが、大黒森を 1 番として八幡平山頂を 300 番とする目標番号板がついていますので参考としてください。</p> <p>今冬も、「八幡平スキー場」は休止しています。八幡平への入山は、八幡平ユースホテルから山岳スキー、徒歩等による行動となりますので、日程、体力等を考慮し十分余裕を持って行動してください。</p>

宮城県 山形県	蔵王連峰	熊野岳 1841 刈田岳 1758	<p>蔵王連峰は、熊野岳（1,841m）を主峰とし、北の雁戸山から南の不忘山まで25キロにわたる火山群です。</p> <p>登山道も整備されていることから、今夏も登山客で賑わいましたが、冬の蔵王連峰は、夏と一変し非常に厳しいので、北アルプス登山と同様の装備と心構えが必要です。</p> <p>蔵王連峰登山道の「ロバの耳コース」は、落石のおそれがあるため閉鎖されています。</p> <p>蔵王の各スキー場において観光客、登山客の自家用車を対象とした車上狙いが発生しています。登山の際は、貴重品等を車内に置かないよう、盗難防止にも十分注意してください。</p> <p>山形側の蔵王スキー場、蔵王ライザスキー場及び宮城側の澄川スキー場は12月上旬にオープンし、世界的に有名な樹氷は1月下旬から2月中旬が見頃となり、すみかわスノーパークでは、雪上車による樹氷めぐりを行っています。</p> <p>山岳観光道路エコーラインは、11月上旬の降雪とともに閉鎖されます。熊野岳、刈田岳へのメインアプローチは山形側がライザスキー場、宮城側が澄川スキー場からとなります。</p> <p>ライザ第3リフト上駅から刈田岳直下までの間、樹氷のつきにくいスチール製の指導標が設置され(冬季間のみ)、吹雪、ガスなどの悪天候時に有効です。</p> <p>蔵王スキー場側からは、地蔵岳直下まで運行される蔵王ロープウェイの利用が可能です。入山届は蔵王ロープウェイ山麓駅か山頂駅に届出してください。なお、山形県警察ではインターネットによる登山届も受付けています。</p> <p>平成17年3月11日には不動滝コースで5名の韓国人スキーヤーが道に迷って行方不明になり、翌日、無事発見救助されるという事案が、平成18年1月30日にはスキー登山者が悪天候のため遭難する事案が発生しています。</p> <p>平成19年4月1日、山形蔵王坊平スキー場から刈田岳への山岳スキー中の男性登山者2人が、悪天候のため道に迷い遭難し、翌日、無事救助される事案が発生しています。</p> <p>地図、コンパス、GPSや冬山の完全装備が必要です。 (山形県情報)</p> <p>平成21年3月21日午後0時25分頃、不忘山を登山中の夫婦が水引入道から沢コースを下山中、妻が傾斜60度の登山道から10～20メートル滑落、立木に激突し死亡する事故が発生しています。当時登山道には雪が残り、アイゼン等が必要な場所もありました。</p> <p>3月といえども、冬山の装備は不可欠です。(宮城県情報)</p>
------------	------	----------------------------	--

秋田県 山形県	鳥海山	2236	<p>冬の鳥海山は天候が急変しやすく、一旦吹雪になると視界ゼロの状態が何日も続くことから、冬山への登山者はほとんどありません。</p> <p>登山を試みる場合には本格的な冬山登山の知識と十分な経験、装備が必要です。</p> <p>7合目（御浜付近）より上は、硬い氷に覆われ、アイゼンも刺さりにくい状態になり特に注意が必要です。</p> <p>御浜小屋（7合目）と頂上小屋は、無人となりますが、避難場所として利用できます。しかし、積雪により小屋が埋もれた際は使用不可能となるので注意が必要です。</p> <p>ブルーラインは毎年4月まで通行止めとなり、鉾立、大平各ルートへの車両の通行はできません。</p> <p>滝の小屋、湯の台の各ルートも鳥海家族旅行村までは除雪されますが、その先は閉鎖となりますので、各ルートへの公共輸送アプローチはありません。</p> <p>鉾立、大平山荘は平成21年10月下旬までで営業を終了しており、営業開始は平成22年5月上旬ころとなります。鳥海家族旅行村、鳥海山荘は通年営業です。</p>
山形県	月山	1984	<p>姥沢口のリフトと姥沢小屋の営業は10月下旬で終了、町営バスも麓の志津までの運行となります。月山の積雪量は6mを越えることから、冬のスキー場は閉鎖され、スキーシーズンは春からになります。</p> <p>羽黒口（8合目）への山岳道路（月山公園線）は、降雪とともに閉鎖され、平成22年6月下旬に開通する予定です。</p>
山形県 福島県	吾妻連峰	西吾妻山 2035	<p>吾妻連峰は東西に長く、日本海と太平洋気候の分水嶺で、天候が急変しやすく、また、福島県と山形県では天候が異なりますので十分注意が必要です。</p> <p>避難小屋としては、有人の慶応吾妻山荘、無人の酸ヶ平避難小屋、谷地平避難小屋、明月荘、西吾妻避難小屋があります。</p> <p>慶応吾妻山荘から五色沼、一切経、東吾妻へのスキーツアーコースは、ルート表示等が無いので注意して下さい。</p> <p>なお、吾妻スキー場の廃止に伴い、リフト運用がないことから冬季間登山口は、高湯温泉ゲートとなっています。</p> <p>裏磐梯グランデコススキー場から西大巔、西吾妻山のルートは、シラビソの樹林帯が続き、山頂付近は樹氷帯となって方向を見間違いやすくなります。</p> <p>家形山から東大巔、籐十郎、西吾妻にかけての福島・山形</p>

			<p>県境尾根、特に西吾妻山頂北側稜線一帯は、吹雪になるとホワイトアウト状態となり、なだらかで迷いやすく、毎年遭難が発生しています。</p> <p>冬季間、西吾妻(西大巔、東大巔)を目指す山形県側のルートは、天元台スキー場、若女平の各ルートがメインとなりますが、積雪が多く悪天候時には猛吹雪に注意が必要です。また、スキーヤー、スノーボーダーが入り込むため、トレースに十分な注意を要します。</p> <p>平成6年2月には、山岳スキーの7人パーティーが福島県側の家形山から山形県側滑川温泉に向かう途中、稜線上の霧ノ平で吹雪に見まわれ、5名が亡くなる遭難が発生しています。(福島県情報)</p> <p>平成17年3月、吾妻連峰若女平で、登山者が道に迷い遭難し救助されるという事案が発生しています。(山形県情報)</p> <p>平成17年8月、単独で山形県側立岩から入山し、東大巔を経て福島県側不動沢に向かった男性が亡くなる遭難が発生しています。(福島県情報)</p> <p>平成18年10月及び平成19年5月に、単独で福島県側浄土平から東吾妻周辺に入山したと思われる男性がそれぞれ行方不明となっています。</p> <p>なお、積雪(残雪)時の家形山付近は迷いやすいので、ナビの携帯が必要となります。(福島県情報)</p> <p>平成19年12月、山形県天元台側から登山した男性が、降雪により13日間、吾妻山中を彷徨い、平成20年1月中旬に福島県耶麻郡のスキー場に自力下山する事案が発生しています。十分な冬山登山装備を携行してください。(山形県情報)</p> <p>平成20年11月11日、一切経山南側大穴火口付近から白色の噴気が観測され、最高時400メートルに達しました。気象台職員の調査の結果、噴火の危険性はないものの、付近で火山性ガスが確認されています。</p> <p>ガスへの注意として、関係機関により付近への立ち入り自粛をお願いしております。付近へは近づかないようお願いいたします。(福島県情報)</p> <p>天元台スキー場は毎年11月中旬から翌年5月連休までオープンしています。(山形県情報)</p> <p>登山届はロープウェイ各駅、第3リフト上駅に提出してください。なお、山形県警察ではインターネットによる登山届も受付ています。(山形県情報)</p>
山形県	飯豊連峰	飯豊本山	飯豊山荘、天狗平ロッジは平成21年11月初旬から閉鎖とな

福島県
新潟県

2105

っています。 (山形県情報)

国民宿舎「梅花皮荘」(通年営業)から飯豊山荘、天狗平ロ
ッジに至る狭隘な山岳道は積雪のため、車両は通行止めとな
っています。同山岳道のルートファインデングが困難なので、
山形県小国側の飯豊連峰へのアプローチは閉鎖となり、石転
ビ沢、梶川、丸森、ダイグラの各コースに至るゲートも封鎖
されています。 (山形県情報)

山形県側の飯豊連峰冬山への入山口は、奥川入から入山す
る西俣の峰コースのみとなります。冬山コースでは、雪崩、
雪庇崩落、滑落事故等が懸念されます。コースに熟知した経
験豊富なリーダーが必要です。 (山形県情報)

福島県側からの登山ルートとなる川入登山口の民宿は、11
月下旬に閉めるので基本的に利用できません。(福島県情報)

飯豊連峰の避難小屋のうち、福島県側の3箇所(山小屋(三
国小屋・切合小屋・本山小屋))は、9月上旬に閉鎖(管理人
不在)となりますが、避難小屋としては利用可能です。

また、弥平四郎登山口から直ぐの被川山荘は、雪囲いをし
ており、2階の窓から出入りできる避難小屋として利用可能
です。 (福島県情報)

被川山荘へ向かうためには奥川を渡りますが、流されてい
た丸木橋は修理されています。

また、通称猪鼻手前の水場付近の登山道についても、崩れ
ていたものが修理されています。 (福島県情報)

疣岩山より上は携帯電話が使用可能となります。(場所
により不通となる場合もあります。) (福島県情報)

年未年始から厳冬期にかけては、連日の積雪と猛吹雪が続
き、稜線一帯が大荒れとなり、特に川入登山口から登る剣ヶ
峯から三国岳を経て種蒔に至る岩稜、剣ヶ峰と七森の鎖場、
草履塚から先の御秘所岩稜は非常に危険なので注意が必要と
なります。 (福島県情報)

福島県側から山形県、新潟県側への縦走・下山ルートは、
大量の積雪に加え、猛吹雪が何日も続くことが予想されま
すので、途中の避難小屋に対する食料デポなど、事前の準備を
行い悪天候に備えてください。

大石ダム登山口、西俣コース及び東俣コース(杵差岳)
新潟県関川村大石ダムまでは車両の乗入れはできますが、
大石ダムを起点とする西俣コース及び東俣コースは、積雪時
は雪崩の多発地帯のため、登山は大変危険となります。
(新潟県情報)

足の松尾根コース(大石山)

えぶりさしだけ
杵差岳

1636

大石山

		1567	新潟県胎内市から入山する足の松尾根コースは、登山口にいたる県道が積雪期は閉鎖されます。冬季は大量の積雪により雪崩の多発地帯のため、登山は大変危険となります。 (新潟県情報)
		北股岳 2025	おういんの尾根コース(北股岳) 新潟県新発田市の加治川治水ダムから加治川ダムまでの林道は車両通行止めとなっています。加治川ダムから湯ノ平温泉の間にある北股川の吊り橋は、冬季間撤去されます。また、同区間の登山道は飯豊川に沿った岸壁にあるため、積雪期は雪崩の多発地帯であり、登山は大変危険となります。 (新潟県情報)
		大日岳 2128	オンベ松尾根コース(大日岳) 新潟県阿賀町から入山するオンベ松尾根コースは、冬季は大量の積雪により雪崩の多発地帯のため、登山は大変危険となります。 (新潟県情報)
山形県 新潟県	朝日連峰	大朝日岳 1870	平成15年1月、竜門小屋で持病の腹痛が悪化し、救出される事故が発生しました。冬山行は十分な健康管理が重要です。 朝日連峰の各登山口へのアプローチは長く、除雪も住宅のあるところまでで冬季間は公共輸送手段がなくなり、閉鎖状態となります。従って、朝日連峰への入山は、長期間を要することから十分な装備品、食料等のデポ、綿密な計画、経験豊富なリーダー等が必要であり、限られた登山者のみが可能です。 古寺鉱泉口の旅館は11月下旬から4月下旬まで閉館になります。 朝日鉱泉の旅館は11月中旬から4月下旬まで閉館になります。 平成20年12月、仲間と登山中の男性が、ガンガラ沢銀玉水付近で強風に煽られ沢に滑落し、折からの悪天候により行方不明となった事案が発生しています。この男性は、登山仲間と所轄警察署及び県警ヘリ等による再三の捜索により、平成21年9月、雪渓の中から遺体で発見されました。 冬季の朝日連峰大朝日岳付近は、強風のため、登山は大変危険となります。慎重な天候判断と予備日を十分に計算に入れた登山を心掛けてください。 (山形県情報)
		寒江山 1695	新潟県側から朝日連峰(寒江山)への入山口は、朝日村の奥三面ダムからとなりますが、冬季間、朝日村岩崩集落から通行止めとなります。入山口から朝日連峰は、大量の積雪による雪崩の多発地帯のため、登山は大変危険となります。

福島県	安達太良山	1709	<p>年未年始から1月中旬にかけては、例年積雪が少なく、「あだたらスキー場」ゴンドラ終点から安達太良本山、鉄山小屋経由で登山できますが、天候の急変で大荒れとなることも予想されますので、気象条件を十分把握してください。</p> <p>1月中旬以降は、天候が不安定となり本山から馬の背、鉄山、箕輪山にかけては秒速20m以上の突風が吹き荒れて危険ですので、十分注意して下さい。</p> <p>標高が1,700m台で、比較的気軽に登山を楽しめる山ですが、悪天候時は迷いやすく、ここ数年連続で遭難が発生していますので、甘く見ず、十分な装備・食料を準備してください。</p> <p>「沼の平」は火山性有毒ガスが発生し、危険ですので立ち入らないでください。</p> <p>平成18年2月、山岳スキー、スノーボード等異種形態で入山した4人パーティーが、吹雪のため山頂付近で道に迷う遭難が発生しています。</p>
福島県	磐梯山	1819	<p>山頂直下の弘法清水小屋は平成21年11月16日から冬季閉鎖され、避難小屋としての使用はできません。必ずテントを用意してください。また、中ノ湯温泉については廃業し営業していません。</p> <p>一般ルートとしての猪苗代スキー場登山口及び押立登山口からの登山は、日帰りも可能ですが、裏磐梯銅沼周辺から南側の「噴火口急斜面」付近は、火山性ガスが噴出しているので、迷い込まないように注意してください。</p>
福島県	会津駒ヶ岳	2133	<p>滝沢登山口からの夏ルート及びキリンテ登山口以外は、雪崩の危険があるので、入山しないよう注意してください。特に下ノ沢は大きな雪崩の危険があります。</p> <p>例年11月下旬以降、山稜全体が豪雪で覆われ、山頂直下の「駒の小屋」は完全封鎖され利用できなくなりますので、冬季間は注意してください。</p> <p>特に山頂北側の御神楽沢と、山頂から西側の大倉沢・赤柴沢には絶対迷い込まないでください。</p> <p>平成18年4月、山岳スキーのため入山した2人が、吹雪のため山頂付近ではぐれ、内1名が亡くなるという遭難が発生しています。</p> <p>環境保護のため携帯トイレを携行してください。</p>

福島県	ひうちがたけ 燧ヶ岳	2356	<p>尾瀬周辺の山小屋は11月3日をもってすべて冬季閉鎖となり、来春ゴールデンウィークまで利用できません。</p> <p>管理人不在であることから、冬の入山時は特に注意してください。</p> <p>御池登山口から夏道をたどって山頂に至るルートが一般的ですが、広沢田代と熊沢田代手前の急斜面では、一部雪庇が張り出し雪崩の危険もあるので注意してください。</p> <p>付近の道路については、冬季閉鎖となります。除雪はミニ尾瀬公園手前中土合公園までしか行われませんので、七入御池への車両乗り入れはできません。</p> <p>環境保護のため携帯トイレを携行してください。</p>
東京都 埼玉県 山梨県	雲取山	2017	<p>例年の積雪は20～50cmで、冬山装備での入山が必要です。また、積雪がルートを消してしまい道に迷うおそれがあるので、経験者をリーダーにして入山してください。</p> <p>三条小屋から水無尾根に至る登山道は、道幅の狭い箇所や路肩が軟弱な箇所が数カ所あり、転落等に注意を要します。</p> <p>雲取山から将監峠に至る稜線上の登山道には、道幅の狭いところがあり、凍結によるスリップや転落等に注意を要します。</p> <p>三条小屋までのアクセス道路の「後山林道」は、現在、林道の整備工事を行っており、車両は通行できません。</p> <p style="text-align: right;">（山梨県情報）</p> <p>埼玉県からの主要アプローチは、三峰神社からの登山となります。冬季は積雪凍結となり、ゴールデンウィーク期まで凍結が残ります。</p> <p>平成21年3月、芋ノ木ドッケ付近で男性1名が約160メートル滑落し、死亡する事故が発生していますので、冬山装備を万全にしてください。また、積雪の場合、山頂までは11kmの距離がありますので、体力、技術に合わせた登山計画をお願いします。</p> <p>三峰ロープウェーは廃止されたため、登山バスを利用することになります。バスの時刻表を確認してから登山をしてください。</p> <p style="text-align: right;">（埼玉県情報）</p>
茨城県	筑波山	877	<p>筑波山は低山ですが、冬季は日暮れも早く、午後遅くなってからの登山は道迷い等の事故につながりますので、計画的な登山をしてください。</p> <p>なお、山頂から中腹の「つつじヶ丘駐車場」付近など、携</p>

			<p>帯電話が通じない場所があります。</p> <p>積雪は少ないですが、部分的に凍結をする箇所がありますので、足元には十分注意が必要です。</p> <p>近年、正規なルートではない危険な未承認ルートで、観光・登山客による道迷いや転落など生命にかかわる事故が発生しています。</p> <p>登山時は事前にルートをよく確認し、地図を持参するなど十分な準備をした上で、正規ルートを歩いてください。</p>
栃木県	那須岳	1915	<p>毎年11月初旬に初冠雪があり、これ以降の登山は冬山の完全装備が必要です。冬型の気圧配置になることも多く、特に、峰の茶屋付近の突風には十分な注意が必要です。また、避難小屋はあくまでも緊急避難施設なので宿泊はしないようにしてください。</p> <p>平成18年10月、那須ロープウェイを利用して茶臼岳に登り、山頂駅から付近の散策に出た男性1人が行方不明です。</p> <p>平成21年4月、峠の茶屋付近において幅約10メートルの表層雪崩が発生し、登山中の5名が雪崩に巻き込まれ、そのうち1名が死亡、2名が軽傷を負う事故が発生しています。</p> <p>ロープウェイは、平成21年12月1日から22年3月19日まで運休予定であり、大丸温泉から峠の茶屋までの道路も平成21年12月1日から22年3月19日までの間通行止めの予定です。</p>
栃木県	男体山	2486	<p>平成21年は、昨年より1週間遅い11月2日に初冠雪があり、日光連山へ入山する場合は冬山の完全装備が必要です。男体山への登山口である二荒山神社中宮祠口は、冬期間は閉鎖され入山できません。</p> <p>志津小屋登拝口からの入山は可能ですが、危険箇所もあるので登山には十分注意してください。</p> <p>平成18年4月、志津小屋ルートで下山中の男女が滑落して凍死する事故が発生しています。</p> <p>積雪期の登山は、十分な計画、装備、注意が必要です。</p>
栃木県 群馬県	日光白根山	2578	<p>栃木・群馬両県境に位置する白根山に至るメインの登山ルートは群馬県側にあります。栃木県側からの登山ルートは全て急な斜面で、山頂付近はガレ場となっており積雪の時期は雪崩のおそれもあり危険です。</p> <p>日光山地一帯は谷川岳と同様気象の変化が激しい場所です。入山にあたっては、防寒対策など十分な冬山装備を準備</p>

			<p>してください。</p> <p>登山コースはいくつかありますが、中高年登山者にも安心して登山できるのは菅沼コースです。弥陀ガ池から山頂の間は、急なガレ場であり、浮き石も多くなるので落石やスリップに注意が必要です。(群馬県情報)</p> <p>平成17年1月、栃木県側の湯元スキー場から入山したベテラン登山者4人のうち1人が、吹雪のため道に迷い、遭難した事故が発生しています。(栃木県情報)</p> <p>平成20年1月、栃木県側から入山した男性登山者4名が、悪天候と疲労から遭難し、うち1名が死亡する事故が発生しています。登山に際しては、経験あるリーダーのもと、安全登山に心がけてください。(群馬県情報)</p> <p>金精道路は、12月25日正午から4月23日正午までの間、丸沼スキー場から金精トンネル(栃木県境)までの区間が、冬季閉鎖となります。</p> <p>平成19年5月、白根山頂から東方の避難小屋方向に下山中の男性1人が、雪渓で滑落して重傷を負う事故が発生しています。(栃木県情報)</p>
<p>栃木県 群馬県</p>	<p>すかいさん 皇海山</p>	<p>2144</p>	<p>栃木県側からの登山ルートは、足尾町銀山平から庚申山を経由し皇海山へ至るルートです。このルートはロングコースで、積雪が多く道標も隠れてしまうため非常に危険です。</p> <p>また、庚申山中腹に庚申山荘があり、宿泊、休憩が可能ですが、道標が積雪で隠れてしまい道に迷う危険もありますので注意が必要です。(栃木県情報)</p> <p>平成18年11月、ルート途中の庚申山で道に迷い、傾斜地から滑落した男性1人が重傷を負っています。(栃木県情報)</p> <p>庚申山荘から皇海山頂に至るルートは2つあります。</p> <p>1つは鋸山11峰を経由して皇海山に至る一般的なルートですが、鋸山周辺は積雪が多く、滑落や雪崩の危険性があり通行できません。</p> <p>もう1つは、六林班峠を経由して皇海山に至るルートですが、こちらも積雪で道標が隠れてしまい非常に危険です。</p> <p>登山する場合は、地理に詳しい人が同行したり、事前に徹底した調査を実施し、山中泊を想定した十分な装備を携行することが必要です。(栃木県情報)</p> <p>群馬県側からの登山口は皇海橋です。(群馬県情報)</p> <p>沼田市利根町追貝から根利<small>おっかい</small>に通ずる栗原川林道は、悪路であり、落石への注意が必要です。また、雪が5月中旬ころま</p>

			<p>で残ることもあります。 (群馬県情報)</p> <p>平成21年10月末現在、コース外れ及び滑落による2件の事故が発生しています。 (群馬県情報)</p>
群馬県	草津白根山	2165	<p>白根山、本白根山、逢の峰等の一帯を総称して草津白根山と呼称します。</p> <p>冬季は強風で粉雪が吹き上げられ、視界が全くきかない状況が多発することがあるので注意が必要です。</p> <p>ツアースキーを行う場合は、ツアーコース図を必ず携行してください。なお、ツアーコースは場合により規制されることがありますので、出発前には、草津国際スキー場内のパトロール隊事務所で確認してください。</p> <p>硫化水素ガスが噴出する危険個所では、立入禁止措置がとられています。中には立ち入らないようにしてください。</p> <p>平成18年7月、本白根山から下山中の男性登山者が、鏡池付近において、スリップにより木道を踏み外し転倒、足を骨折し重傷を負う事故が発生しています。</p> <p>長野県の志賀高原に通ずる志賀草津道路は平成21年11月中旬から22年4月下旬の間は、冬季閉鎖されています。</p>
群馬県	子持山	1296	<p>標高は、1,300m足らずの低山ですが、この時期、山頂付近は天候が急変することが予想されます。登山に際しては、事前に気象情報を確認し、無理な登山はしないでください。</p> <p>平成17年10月、女性登山者が急斜面を下山途中、足を滑らせて斜面を滑落し、負傷するという事故が発生しています。</p> <p>遭難の多くは疲労がピークに達する下山時に発生しています。最後まで気を抜かぬよう慎重に行動してください。</p>
群馬県	みかぼやま 御荷鉾山	1286	<p>近年、みかぼスーパー林道が開通したことにより、マイカーで簡単に林道まで上がり、稜線伝いに西御荷鉾山、東御荷鉾山を縦走することができるようになりましたが、入山に際しては決して無理をせず、早め早めの行動を心掛けてください。</p> <p>みかぼスーパー林道は、土砂崩れが多く、部分的な通行止めとなることが多いので、注意してください。</p> <p>詳しくは、神流町役場(電話0274-57-2111)に確認してください。</p>
群馬県	妙義山	1104	<p>白雲山、金洞山、金鷄山の3山を表妙義、中木川左岸の山塊を裏妙義と呼んでおり、山域は安中市松井田、富岡市妙義、下仁田町の2市1町に位置しています。</p>

			<p>高さこそ1,100m程度の山ですが、急峻で谷が深く、入り組んでおり、地形が複雑です。このため、県内においては谷川岳の次に遭難が多く発生していますので、登山する場合は、事前にコースをよく確認し、道はずれたり、沢等に入らないことです。</p> <p>平成21年10月末現在、妙義山では、9件の遭難事故が発生し、1人が死亡、7人が負傷しています。</p> <p>事故の多くは、早朝からの疲れや緊張感の緩みに起因するものです。下山時などには靴ひもを締め直すと同時に気持ちを引き締めることが大切です。</p> <p>初心者に楽しめるコースは、白雲山麓の妙義神社から金洞山中腹の中之岳神社、石門群までをほぼ水平に絡むコースで、現在は関東ふれあいの道「さくらの里と石門のみち」として整備されています。</p> <p>しかし、妙義山の場合、初心者コースといえども、岩場の連続であり、細かい上り下りが多いため、子供連れなどには向かない場所です。「人が行くなら私も」という安易な気持ちから、思わぬアクシデントも少なくないので慎重を期してください。</p>
群馬県	ほたかやま 武尊山	2158	<p>標高2,158mの沖武尊を最高峰に、家ノ串、剣ヶ峰、前武尊などの峰々から形成されています。</p> <p>沖武尊、前武尊、中ノ岳はともに、標高が高いことから、天候の急変に備えた防寒対策は欠かすことができません。</p> <p>入山に際しては、コースや所要時間等について事前に確認しておくことが必要です。無理をせず、天候の急変や予定時間が遅れた場合には、直ちに下山するよう心掛けてください。</p> <p>平成20年5月、コースを外れての道迷いと認められる事故により、男性1名が亡くなっています。</p> <p>近年、スキー登山者が増えていますが、新雪の中でコースを誤り遭難するという事例が多く見られますので、無理な行動は厳に慎んでください。</p> <p>平成17年1月から2月にかけて、山岳スキーに関係する事故が4件発生し、1名が死亡しています。</p>
群馬県	赤城山	黒檜山 1828	<p>赤城山は県中央部に位置し、最高峰の黒檜山(1,828m)をはじめ、駒ヶ岳、薬師岳などの外輪山のほか、中央火口丘の地藏岳、長七郎山、鍋割山、鈴ヶ岳等で形成されています。</p> <p>過去の遭難事例を見ると「コースを外れての道迷い」がそのほとんどです。低山といえども、入山に際しては地理に詳</p>

			<p>しい人などの同行やコースの事前調査を忘れないでください。</p> <p>平成19年1月、単独で日帰り登山中の女性が、斜面で滑落して死亡する事故が発生しています。</p> <p>冬型の気圧配置の場合、山頂付近は雪となるおそれがありますので、事前に気象情報を確認してください。</p>
群馬県	けさまるやま 袈裟丸山	1878	<p>足尾山塊の南端に、いくつかのピークからなる袈裟丸連峰がありますが、その中でも一般に袈裟丸山と呼ばれているのは、一等三角点のある前袈裟丸山です。</p> <p>11月初旬ころには、山頂付近で初雪が見られることがあります。冬季の入山は、天候の急変が予想されるため、事前に気象情報を確認してください。</p> <p>登山ルートは、大滝から小中川に沿って上流に上った地点から登るコース（郡界尾根コース）のほか、表登山道ともいえる塔ノ沢コースと弓ノ手新道コースがありますが、折場登山口から賣の河原を経て、山頂に至る弓ノ手コースが最短距離となります。</p> <p>どのコースも整備されていますが、最近、道迷いによる遭難が発生していますので、登山に際しては、事前のコース確認を必ず行ってください。</p>
群馬県	至仏山	2228	<p>11月3日（文化の日）を最後に、尾瀬周辺のほとんどの山小屋は営業を終え閉鎖となり、長い冬を迎えます。</p> <p>尾瀬に通ずる道路は、11月上旬～5月上旬までの間、その多くが冬季閉鎖されます。詳しくは、道路管理者である沼田土木事務所（電話0278-24-5511）に確認してください。</p> <p>冬季における登山に際しては、防寒対策など十分な装備を整えるほか、事前の気象情報を確認することが重要です。</p> <p>尾瀬ヶ原の木道はよく整備され歩きやすいという利点がある一方で、雪や雨が降れば、途端に滑りやすくなりますので、十分な注意が必要です。</p> <p>平成21年9月、男性登山者が、疲労から足を痙攣させ動けなくなり、防災ヘリで救助される事故が発生しています。</p> <p>山頂～山の鼻間は、標高800mの急勾配です。</p> <p>上り下りとも体力・脚力が必要なため、無理のない計画を立てましょう。</p> <p>至仏山は、滑りやすい蛇紋岩が多いため、特に下山時には細心の注意が必要です。</p> <p>スキー登山をされる方は、事前に気象情報を確認し、荒天</p>

			が予想される場合は、登山を控えてください。
群馬県	榛名山	かもん 掃部ヶ岳 1449	<p>上毛三山の一つ榛名山は、カルデラ湖の榛名湖を中心に、最高峰の掃部ヶ岳、相馬山、榛名富士などの山々から形成されています。</p> <p>冬型の気圧配置の場合、山頂付近は雪となるおそれがありますので、事前に気象情報を確認してください。</p> <p>平成18年11月、登山中の夫婦連れが日没のため登山道を見失い、救助されるという事案が発生しています。登山では、日没時間を考慮し、早め早めの行動を心掛けてください。</p>
群馬県 新潟県	谷川岳 谷川連峰	1963	<p>群馬県谷川岳遭難防止条例に定める冬山期間中（12月1日から翌年2月末日までの間）は、「危険地区」に登山しないよう自粛してください。（前記期間中、登山指導センターは閉所となります。）</p> <p>なお、冬山期間以外において、「危険地区」に登山される方は、登山しようとする10日前までに県谷川岳登山指導センターに登山届の提出が必要です。届出をしないまま、危険地区に登山した場合は、条例に基づき、罰則が科せられることがありますの注意してください。</p> <p>詳しくは、群馬県警察本部地域課（電話027-243-0110内線3564）に問い合わせてください。</p> <p>谷川岳登山指導センター（http://www6.ocn.ne.jp/~tozan-ce/index.htm）</p> <p>谷川岳の気象は、大陸からの影響を強く受け、局地的に低気圧ができやすいことから、大雪、降雨、濃霧となる場合が非常に多く、天候も急変しやすい場所なので、登山に際しては、事前の気象情報を確認し、十分な装備を準備してください。</p> <p>平成21年10月末現在、谷川連峰では、13件の遭難事故が発生し、不幸にも5名が亡くなっています。冬山登山に際しては、事前の天候を確認し、無理な登山は控えてください。</p> <p style="text-align: right;">（群馬県情報）</p> <p>近年、スキー登山者が増えています。積雪期には、雪崩が起きやすいため、危険な場所への立入は控えてください。</p> <p>平成19年3月、スキー登山中の4人パーティーの内の男性1名が、悪天候でコースを逸脱し、岩場を約200メートル滑落し死亡する痛ましい事故が発生しています。</p> <p style="text-align: right;">（群馬県情報）</p> <p>国道291号線「ロープウェー駅～一ノ倉沢」間は、11月25</p>

		<p>日から5月28日までの間、冬季閉鎖中です。(群馬県情報)</p> <p>新潟県側から谷川連峰への入山コースは、湯沢町の平標新道、松手ルート、平元新道、吾作新道、茂倉新道、蓬新道等がありますが、この地域は有数の豪雪地帯で、大量の降積雪がありますので、沢や山腹斜面ではいたるところで、常に雪崩の危険が伴います。積雪期の谷川連峰は経験のあるリーダーの元で、十分な冬山装備で行動し、単独での登山は厳に謹んでください。(新潟県情報)</p> <p>平標山への松手ルート、平元新道の起点となる駐車場は積雪期は除雪していませんので、利用できません。国道17号線での路上駐車や、「苗場ふれあいの郷」地内での迷惑駐車はしないでください。(新潟県情報)</p>	
	<p>たいらつびようやま 平標山 1984</p>	<p>茂倉岳 1978</p>	<p>茂倉新道は土樽からの登りはじめは、深雪で胸までのラッセルとなることがあります。道中の「ひのき廊下」付近では樹林帯のため積雪が一時的に少なくなりますが、状況によっては、1日のコースが2～3日にも及ぶこととなります。さらに上部の「矢場ノ頭」直下はやせ尾根となり、これまでも滑落事故が発生していますので十分注意してください。</p> <p>「矢場ノ頭」から上の稜線では天候の変動が激しくガスが発生しやすいため、ホワイトアウトによる道迷いが発生しています。(新潟県情報)</p> <p>谷川連峰にいたるどのルートにおいても、ヤセ尾根の危険箇所が積雪で隠れている場合がありますので注意してください。(新潟県情報)</p>
	<p>仙ノ倉山 2026</p>	<p>遭難事例 1</p> <p>平成18年3月、9人パーティーが仙ノ倉山を登山中、吹雪及びホワイトアウトのためパーティーが分散し、2人がパーティーから離れ、7人グループと2人グループに分かれてビバークを行いました。2人グループは2人とも凍死し、7人グループは県警ヘリ及び消防防災ヘリに救助されています。この原因として悪天候下における早期撤退の判断不足、グループが分散したことが挙げられます。(新潟県情報)</p> <p>遭難事例 2</p> <p>平成19年3月、単独の山岳スキー登山者が仙ノ倉山に登山し行方不明となる遭難が発生しました。この遭難者は21日後に凍死状態で県警ヘリに発見され、収容されました。この原因として悪天候時の無理な登山、ホワイトアウトによるルート喪失、ビバーク装備の不足等が挙げられます。(新潟県情報)</p>	
	<p>蓬峠</p>	<p>遭難事例 3</p>	

			<p>平成19年3月、2人パーティーの登山者が白毛門～朝日岳～清水峠～蓬峠～谷川岳～天神平の予定で縦走中、悪天候のため蓬ヒュッテに停滞。天候回復の見通しが立たず、かつ、食料の不足から救助を要請、県警ヘリが出勤し2人を救助しました。厳冬期の縦走登山は天候への配慮と行動不能時のピバークに対する装備、食料計画、エスケープルートの検討等を十分行ってから入山してください。冬山は常に吹雪であることを前提に計画し、予備日や予備食・非常食のない登山は行わないでください。 (新潟県情報)</p>
群馬県 新潟県	巻機山	1967	<p>谷川連峰の朝日岳～巻機山縦走コースはエスケープルートがないことから、初心者は避けてください。(群馬県情報)</p> <p>巻機山の主要登山口は新潟県南魚沼市清水ですが、冬季は、清水集落から登山口の桜坂駐車場までは積雪のため車両は通行不能となりますので清水集落からのアプローチとなります。駐車場はありません。 (新潟県情報)</p> <p>冬季は、大量の積雪、強風、雪崩等多くの危険があります。特に沢筋は雪崩の危険性が高く、山岳スキーやスノーボードでヌクビ沢、米子沢等への滑走は大変危険です。また、9合目の避難小屋は雪で埋もれ使用不能となります。入山には冬山の装備のほか、熟練した技術が絶対条件となります。 (新潟県情報)</p>
群馬県 新潟県	平ヶ岳	2141	<p>新潟県側から平ヶ岳への登山コースは、南魚沼市の恋ノ岐コースと鷹ノ巣コースがありますが、積雪期は道路が閉鎖されます。</p> <p>春の残雪期に群馬県側から縦走による登山が行われることがありますが、これまでに稜線からの滑落事故や春の吹雪によるホワイトアウトのルート喪失がありますので、春山の危険を認識した上での行動が必要です。 (新潟県情報)</p>
群馬県 長野県	浅間山	2568	<p>火山活動のため火口から半径4km以内は立入禁止区域となっていますが、長野県小諸市、軽井沢町側の登山道については、気象庁が発表する「噴火警戒レベル」に応じた規制が行われますので情報を確認してください。 (長野県情報)</p>
群馬県 長野県	あずまやさん 四阿山	2354	<p>あずま屋のように、四方に張り出した尾根を持つことから、四阿山と名付けられたこの山は、上信国境にあり、浅間、黒斑に次ぐ高峰で、吾妻山とも呼ばれています。</p> <p>登山口は群馬県側に鳥居峠、バラギ湖、野地平と3ヶ所に</p>

			<p>あります。</p> <p>冬季は、深い積雪が予想されるため、初心者による登山は控えてください。</p> <p>平成15年2月、山岳スキーの目的で入山した3名のうち1名が新雪の雪だまりで転倒し負傷（足骨折）する事故が発生しています。最近、山岳スキーや冬山トレッキング等で入山される方が多く見られますが、下山時には疲労もピークに達し、事故を起こしやすくなりますので細心の注意をしてください。 （群馬県情報）</p>
埼玉県	両神山	1723	<p>八丁峠から山頂への北側斜面は凍結しやすくなっており、また、岩場が多く鎖場がありますが、降雪時には鎖が埋もれて見えないことがあるのでよく確認してください。</p> <p>八丁峠～西岳～山頂ルートは積雪時非常に危険なので、十分な装備を準備し、余裕を持った登山計画を立ててください。</p> <p>西岳～尾の内沢コースは、道が荒れてははっきりしません。転・滑落の恐れがあるとともに、道迷いを起こしやすい場所ですので、地図を携行し、道標を良く確認してください。</p> <p>白井差コースは有料です。管理者に連絡を取って入山してください。</p>
埼玉県 山梨県 長野県	こぶしだけ 甲武信ヶ岳	2475	<p>積雪は、厳冬期の吹き溜まりで1m以上になります。</p> <p>東沢渓谷、鶏冠尾根、サイノ河原付近の登山道は、荒れていて危険なため特に注意を要します。近年、アイスクライミング目的の入山者がみられます。</p> <p>西沢渓谷入口までのアクセス道路は、公共交通機関（バス）が運行されています。</p> <p>埼玉県からのコースは、いずれも北斜面のため積雪が多く凍結していますので、上級者コースとなります。 （真ノ沢林道コースは廃道のため通行できません。）</p> <p>埼玉県側からの甲武信ヶ岳に至る登山道から登る場合は、いずれも距離が長いことから、日数に余裕を持った登山計画を立ててください。 （埼玉県情報）</p>
神奈川県	丹沢	蛭ヶ岳 1673 丹沢山 1567.1 塔ノ岳 1491	<p>丹沢は、降雪が根雪になるのは、1月から3月にかけてです。それまでは降っても数日で雪は解けてなくなってしまいます。天気の良い日は登山道は雪と霜が解けて濡れ、泥だらけで大変滑りやすくなります。雪の多い年は2メートル以上積もることがあります。</p> <p>アイゼンを携行してください。前爪なし6本爪以上を推奨</p>

		<small>おおやま</small> 大山 1252 三峰山 934.6	<p>します。</p> <p>低気圧通過時には、蛭ヶ岳山頂では氷点下20度くらいまで冷え込むこともあります。気象情報を収集してください。</p> <p>蛭ヶ岳の山頂付近は土と岩とが混在し浮き石が多いことから、特に南面と西面の登山道は、初心者、上級者にかかわらず転倒、転落の危険があります。</p> <p>入山前の準備体操や最低限のビバーク装備を携行してください。鎖場やはしご場では迂回をせず、正規のルートを利用してください。人の踏み跡よりもしっかりとした獣道が多いので、迷ったと思えば、元の道に引き返してください。また、転落の危険性が高いので、沢は下らないください。</p> <p>平成20年には三峰山頂から下山途中に足を滑らせ、滑落死する事故が2件、また、大山登山中の岩場で足を滑らせ、滑落死する事故などが発生しています。</p> <p>最近、登山経験の浅い中高年登山者の道迷いや負傷が続いています。「今まで無事に下山できていたから今度も大丈夫」と思わず、装備や経験に見合った計画を立ててください。一般的に、丹沢のような標高が低くて木の茂った里山の方が、道に迷いやすいと言われています。</p>
新潟県	妙高山	2454	<p>厳冬期の妙高山は、急峻な斜面での雪崩、猛吹雪、強烈な北西風、視界不良、寒冷気候等多くの危険が潜んでいます。</p> <p>しかし、周辺のスキー場から山岳スキー（スノーボード）愛好者が多数訪れ、雪崩や雪庇の踏み抜き、技能の未熟、ホワイトアウトや地理不案内による彷徨等による遭難が発生しています。</p> <p>遭難事例 1</p> <p>平成18年1月、赤倉スキー場から前山へ山岳スキー登山を行っていた4人パーティーが雪崩に巻き込まれ、3人が骨折する遭難が発生しました。</p> <p>遭難事例 2</p> <p>平成18年2月、池ノ平スキー場から赤倉スキー場へスキーツアーを行っていた2人パーティーが、ルートを迷う遭難が発生しています。スキー場を利用する山岳スキー等は、慎重に行動するとともに、スキー場へ登山計画書を提出しましょう。</p>
新潟県	火打山	2462	<p>厳冬期の火打山は、日本海側特有の荒天が連日続き、大量の降雪、雪崩、猛吹雪、強烈な北西風、視界不良、寒冷気候</p>

			<p>等多くの危険が潜んでいます。</p> <p>火打山周辺は山岳スキー(スノーボード)の登山者が多く、妙高山と同様、雪崩やホワイトアウトによる遭難が毎年のように発生しています。山岳スキー(スノーボード)は十分な装備品を携行し、雪崩や天候に注意してください。</p>
新潟県	越後駒ヶ岳	2003	<p>冬季間の入山口は、駒ノ湯～小倉尾根経由のコースと群界尾根～駒の小屋コースがありますが、いずれも深いラッセルと、雪崩、雪庇崩落、吹雪による視界不良、滑落等多くの危険があります。</p> <p>冬季の越後三山は、ひとたび天候が崩れれば吹雪の日が続き、雪崩、雪庇崩落、滑落等の危険があります。</p> <p>また、道標は雪に埋もれて確認出来ないことがありますので、無雪期にコースを熟知し、かつ、経験豊富なリーダーの下で余裕ある計画を立てて行動することが必要です。</p>
新潟県 長野県	高妻山	2353	<p>山頂で長野県境と新潟県境と接している戸隠連峰の最高峰です。</p> <p>冬季は3～4mの積雪のため、一日で山頂に到達することは困難で、途中で幕営できる装備等を携行するとともに、雪崩に遭わないよう尾根筋のルートを選定してください。</p> <p>(長野県情報)</p> <p>新潟県側から高妻山への登山道はありません。</p> <p>(新潟県情報)</p>
新潟県 長野県	雨飾山	1963	<p>雨飾山は長野県、新潟県の県境に位置し、豪雪で知られる頸城山群にあって、穏やかな山容の妙高連峰に比べ、標高は低いものの、急峻な海谷山塊と妙高連峰の両方に隣接しています。厳冬期には降雪の日が多く、入山者もほとんどないため、ラッセルに苦労し、雪庇・雪崩の危険も高くなります。</p> <p>入山口となる糸魚川市の「雨飾山荘」は、冬季間は閉鎖されます。</p> <p>(新潟県情報)</p>
新潟県 長野県	苗場山	2145	<p>長野県、新潟県の県境にあり、冬季は豪雪地帯のため、登山者はほとんどいません。近年、山岳スキー(スノーボード)によるツアー登山者が、「かぐらみつまたスキー場」から神楽峰周辺に入山しています。ツアーコースは、神楽峰から小松原方面、神楽峰から高石尾根へのクラシックコースに人気がありますが、毎年のように雪庇の踏み抜きによる転落事故、ホワイトアウトによる道迷いが発生していますので、万全な</p>

			<p>装備と地形を熟知したリーダーの下で行動してください。</p> <p>「かぐらみつまたスキー場」から入山する場合は、同スキー場に登山計画書を提出してください。（新潟県情報）</p> <p>冬季の苗場山は、日本海から直接吹きつける偏西風の影響で大量の積雪となり、「かぐらみつまたスキー場」を入山拠点としても、スキー場を離れると直ぐにラッセルを強いられることとなりますので、多人数で構成するパーティーでの行動が必要です。（新潟県情報）</p> <p>神楽峰を下った鞍部から苗場山への尾根（雲尾坂）は、雪壁になる場所や、雪庇のせり出しがあり雪崩の危険性が十分ありますので、冬季の登山は見合わせるなどの慎重さが必要です。（新潟県情報）</p> <p>山頂部は、苗場山特有の高層湿原で、積雪期は大雪原となり、降雪時にはホワイトアウトになりやすく、強風によりトレースが瞬時に失われます。</p> <p>長野県山ノ内町奥志賀スーパー林道から山麓の「秋山郷」に至る道路も冬季閉鎖のため、車両での通行はできません。（長野県情報）</p>
新潟県 長野県 富山県	白馬岳	2933	<p>厳冬の白馬岳は、大量の降雪と強い偏西風が長時間続き、それに伴う深いラッセルや雪庇、雪崩、吹雪等による低温や視界不良、クレパスへの滑落など多くの危険と困難が待ち受けています。万全の装備と一週間も続く猛吹雪に耐えられる体力・精神力が必要であり、鍛え抜かれたエキスパートだけが登ることを許される山です。</p> <p>また、大雪渓は雪崩の危険が高く、立ち入ることができませんので、山頂へのアタックは、白馬尻から杓子尾根、又は白馬岳主稜が使われますが、どちらのコースも上級者向きです。（長野県情報）</p> <p>過去にも雪崩による大きな遭難が発生しています。昭和49年3月、白馬岳主稜末端で2パーティ5人が雪崩に巻き込まれ全員が死亡しています。</p> <p>新潟県側の蓮華登山口は、冬季間、麓の木地屋集落までしか道路は除雪されておらず、拠点となる宿泊施設「蓮華温泉ロッジ」は冬季間は閉鎖されています。（新潟県情報）</p> <p>遭難事例</p> <p>平成19年3月、単独の山岳スキー登山者が、長野県梶池スキー場から新潟県側の蓮華温泉にスキー滑降中、稜線から沢に滑落する遭難が発生しました。遭難者は脱臼及び靭帯断裂のため自力下山できず、装備していたツェルトでビバークし、</p>

			<p>現場が県境付近であったため、新潟県警・長野県警・地元遭対協合同の山岳救助隊を編成し出動し、最終的に長野県警へりにより救助しました。山岳スキーによる滑降は、ルート判断を誤ると垂壁へ転落するなどの危険があることに加え、転倒した際は大事故につながりますので、単独での登山は控え、自分の技術にあったコースを選定してください。</p> <p>(新潟県情報)</p>
山梨県	みずがきやま 瑞牆山	2230	<p>積雪は、登山道、樹林帯で1.5～2mくらい、沢筋では2m以上となります。</p> <p>富士見平小屋から天鳥川上流の分岐点において、小川山方向への道迷いに注意しましょう。</p> <p>山頂の岩場付近は、アイスバーンとなります。転倒、滑落等に注意を要します。</p> <p>アクセス道路の林道は、瑞牆山荘まで通行可能ですが、滑り止めを準備することが必要です。</p>
山梨県	大菩薩嶺	2057	<p>厳冬期には30～50cmの積雪があり、日影部分はアイスバーンとなっているため、スリップなどによる転倒、滑落に注意が必要です。また、樹林帯を抜けた尾根道や山頂付近は、秒速10m以上の突風が吹き、気温も急激に変化します。</p> <p>軽装での入山者が見られますが、冬山装備の完備が求められます。</p>
山梨県	鳳凰山	2840	<p>積雪は、登山道、樹林帯で1.5～2mくらい、沢筋で3～4mになり、山頂を目指す登山者は、冬山装備を完備して冬山への技術を持った熟達者であることが求められます。</p> <p>観音岳(2,840m)、薬師岳(2,780m)、地藏ヶ岳(2,764m)の各稜線は、突風による転倒・転落、アイスバーンでの滑落に注意が必要です。</p> <p>各沢筋や地藏ヶ岳西側斜面付近における雪崩、各山頂付近の岩場での転倒・滑落に注意が必要です。</p> <p>夜叉神の森登山口までは車両通行可能ですが、積雪・凍結などにより通行止めとなる場合があります。</p>
山梨県	北岳	3193	<p>積雪は、登山道、樹林帯で1.5から2m位くらい、沢筋で3～4mくらいになり、小太郎尾根分岐から頂上の稜線では、大樺沢側に雪庇が発生するので注意を要します。</p> <p>大樺沢は雪崩の巣で危険です。八本歯から北岳山荘へのトラバースルートは、雪崩の危険があるため立ち入らないでく</p>

			<p>ださい。</p> <p>バットレスを登攀する場合は、取り付きまでの雪崩に注意してください。また、岩が大変もろくなっていますので十分注意してください。</p> <p>池山吊り尾根から八本歯のコルに下る岩稜部は、ザイルを使用するなど慎重な行動が求められます。</p> <p>稜線は、西側からの風が強く、山頂からの下りは急な部分が多いため慎重に下りましょう。また、稜線上は雪が風に飛ばされているため、アイゼンで岩につまづかないよう注意してください。</p> <p>平成17年1月、夫婦と友人の3名が、北岳八本歯を下山中、雪崩に遭い1名が生き埋めになり、夏に遺体で発見されるという山岳遭難が発生しています。</p> <p>夜叉神の森登山口までは車両通行可能ですが、積雪・凍結などにより通行止めとなる場合があります。夜叉神の森から広河原まで南アルプス林道は、岩盤崩落により歩行での通行も禁止されています。</p>
山梨県 長野県	甲斐駒ヶ岳	2967	<p>厳冬期は、5合目から7合目までの屏風岩鎖場前、8合目から9合目の稜線及び刀利天狗下の梯子等の表面が凍結し、スリップに対する注意が必要です。</p> <p>8合目鳥居から上の鎖場は、雪に埋もれているのでルートファインディングに注意し、六万石への稜線の下りは、岩場であるので注意してください。また、9合目から頂上に至る間は、突風対策を万全にしてください。</p> <p>1月から2月は、夜間の気温が-25度くらいまで下がります。厳しい寒さに耐える装備と、行動不能を考慮した予備食料の携行が不可欠です。</p> <p>登山口へのアクセスは、尾白川林道は日向山入口指導標付近まで、大武川林道は起点から通行止めです。精進ヶ滝林道は一部通行可能ですが、積雪、落石等により通行止めになる場合があります。</p> <p>無雪期には、北沢峠まで、スーパー林道（長野県伊那市峠 山梨県芦安村）を利用できますが、冬季は閉鎖されており、戸台口から歩くこととなります。（山梨県情報）</p>
山梨県 長野県	仙丈ヶ岳	3033	<p>積雪は、登山道、樹林帯で0.5～2mくらいとなります。沢筋では3～4mになり雪崩に注意が必要です。（長野県情報）</p> <p>小仙丈への上りは、急な雪壁でピッケル、アイゼン技術を</p>

			<p>要します。また、小仙丈から頂上への岩稜部分は、アイゼンを引っかけないよう慎重に下ってください。</p> <p>広河原までの南アルプス林道は、岩盤崩落により、歩行での通行も禁止されています。夜叉神の森までは積雪・凍結による通行止めがない限り通行可能です。（山梨県情報）</p>
山梨県 長野県	金峰山	2599	<p>積雪は、登山道、樹林帯で1.5～2mくらい、沢筋では2m以上となります。冬山は積雪により登山道が判然とせず、ルートを外れ、道に迷う危険性があります。</p> <p>稜線は、突風による転倒、転落、大日岩付近や山頂の五大岩付近ではアイスバーンによる転倒、滑落などにそれぞれ注意を要します。</p> <p>アクセス道路の林道は、瑞牆山荘まで通行可能ですが、滑り止めを準備することが必要です。また、林道川上・牧丘線は、柳平地内から閉鎖に、更に琴川ダムから大弛峠間も閉鎖になっています。（山梨県情報）</p>
山梨県 長野県	八ヶ岳	2899	<p>赤岳へのルートは、茅野側の美濃戸口を經由し、赤岳鉱泉、行者小屋を経て、稜線を目指します。（長野県情報）</p> <p>また、赤岳鉱泉から赤岩の頭を経て、硫黄岳に至り、稜線を南に向かい、赤岳を目指すコースがあります。</p> <p>平成18年2月、赤岩の頭付近で表層雪崩により死亡遭難が発生しています。</p> <p>八ヶ岳は、冬山の入門コースとして人気が高く、アプローチが短い割に、北アルプス並みの寒気と雪を経験できるため、冬山登山者が多い山域です。遭難も毎年発生しています。</p> <p>積雪は2～3月頃が最も多く、樹林帯で1m前後、沢筋やふきだまりでは3m位に達し、気温は、1～2月が最も低く、-10度～-20度の間を上下します。</p> <p>稜線上での突風は、時に秒速40mに達することもあり、厳冬期の登山は、計り知れない労力や高度の技術を必要とするバリエーションルートとなり、エキスパートのみに許される領域となります。</p> <p>常に最新の気象情報を元に行動し、状況によっては「引き返す勇気」が必要です。（長野県情報）</p> <p>各峰の7合目以上の稜線は、突風やアイスバーンによる転落・滑落に最大限の注意を要します。（山梨県情報）</p> <p>県界尾根や真教寺尾根とも、山頂近くの鎖場は、積雪により鎖が凍結し隠れています。また、鎖場上部は、大門沢側に雪庇がでますので踏み抜きに注意を要します。（山梨県情報）</p>

			<p>権現岳から赤岳に向かう稜線における、雪庇の踏み抜きにも注意してください。(山梨県情報)</p> <p>八ヶ岳横断道は通行可能で、川俣林道も起点美し森から2km通行可能ですが、降雪等の状況により通行止めとなる場合があります。(山梨県情報)</p> <p>赤岳周辺は急峻な岩場であり、足を滑らせたり、突風でバランスを崩したりして滑落する遭難が発生しています。(長野県情報)</p>
山梨県 静岡県	富士山	3776	<p>冬の富士山は気象条件が厳しく、氷点下30度の気温、風速30mの強風も希ではありません。単独峰のため、突風による転倒事故が多く、厳寒期の8合目以上では青氷状態でアイゼンの歯も効かないことがあります。毎年アイスバーンでの滑落事故が発生しており、ピッケルやアイゼンなどの冬山装備を使い確実な滑落停止や耐風姿勢の取れる高度な登山技術が必要です。</p> <p>アクセス道路の「富士山スカイラインから富士宮5合目に至る区間」並びに「御殿場口登山区間」及び「須走口のあざみライン馬返しから須走口5合目まで」は、積雪する11月下旬から4月下旬まで通行止めとなります。通行止め期間は、気象条件等により変更となる場合がありますので注意してください。(静岡県情報)</p> <p>山梨県側の5合目までは、富士スバルラインが午前9時から午後5時まで通行可能(上りゲートは午後4時閉鎖)ですが、降雪や凍結により全面又は一部が通行止めとなります。また、滝沢林道は12月から冬季閉鎖となります。(山梨県情報)</p> <p>吉田大沢は、落石や雪崩等の危険が大きいため、立ち入らないでください。(山梨県情報)</p> <p>スキーやスノーボードでの滑降は傾斜面が多く、露出した岩場も多く見受けられることから、大変危険です。転倒すると生命にも危険が及ぶ大きな事故となる可能性があります。</p> <p>宝永第一火口内は、上部からの崩壊があり、落石を受ける可能性が高いため、奥へ立ち入らないようにしてください。</p>
山梨県 静岡県	あいのだけ 間ノ岳	3189	<p>どのルートもアプローチに長い日数を必要としますので、十分な準備と強靱な体力が必要です。</p> <p>白根三山の真ん中に位置する広大な山で、麓からの直接ルートはありません。頂上部は広くなだらかですが、特徴がないだけに吹雪やガスが出ているときは、ルートを見失い易い</p>

			<p>ことから、コンパスやGPSにより方角をしっかりと確認する技術が必要です。</p> <p>北岳から農鳥岳への南下ルート、三峰岳から塩見岳方面へのルートの分岐であり、また北岳からのピストンとして登る計画が多く見られます。</p> <p>山が大きく見え、近いような錯覚を起こしますが案外時間のかかるコースです。</p> <p>稜線では、突風による転倒や転落、滑落などに十分注意する必要があります。また、厳寒期には1～2mの積雪となり、稜線上はアイスバーンとなりますので、アイゼン、ピッケル技術が必要とされる熟達者の山であるとともに、緊急事態には北岳や農鳥岳を経由して下山しなければならず、人一倍の体力や旺盛な気力が必要とされます。</p>
長野県	空木岳	2864	<p>池山尾根には、「大地獄」・「小地獄」といった難所があり、遭難も多く発生しています。山頂方向から下山してくると、この付近で急傾斜になり、尾根も次第に細くなってきます。ザイルやピッケルなどの装備を十分に使いこなして、慎重に行動しましょう。</p>
長野県	木曾駒ヶ岳	2956	<p>駒ヶ根市側に架けられた中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイを利用して、一気に標高2,612mの千畳敷に立ち、そこから雪崩の危険性があるため、千畳敷カールの外側を経て、中岳の頂上から駒ヶ岳に向かうコースが一般的です。</p> <p>中央アルプスの稜線上の岩肌には、通称「エビの尻尾」と呼ばれる雪の造形が見られるとおり、風雪が激しいところです。このため、風雪に対する防寒対策をしっかりと行い、凍傷などにならないよう注意が必要です。</p> <p>中岳木曾側の巻き道は、雪面がクラストしており、滑落する危険性が高いので、通行しないでください。平成16年3月には連続して単独登山者3人が滑落して死亡しています。</p> <p>千畳敷カール内や沢筋は、雪崩の発生の危険性が高く、新雪の降ったときや気温の上昇時には登山自粛の判断も必要となります。</p> <p>平成20年1月～2月にかけて、宝剣岳周辺で3名が滑落や雪崩による遭難で死亡しています。</p>
長野県	常念岳	2857	<p>冬山では合戦尾根から燕岳に至り、稜線を縦走して大天井岳から常念岳に向かうコースと、上高地から長堀尾根を登って蝶ヶ岳に至り、稜線沿いに常念岳に向かうコースが一般的</p>

			<p>です。</p> <p>積雪は、穂高連峰に劣らず、2～3mに達するので、新雪のときは長時間のラッセルが必要となります。必ずパーティを組んで登山しましょう。</p>
長野県	蓼科山	2530	<p>冬季は、ゴンドラ、リフトを利用して、蓼科牧場の下端から御泉水自然園まで登る人がいる程度で、山頂を目指す登山者は少ないですが、登山をする場合は、道迷いや防寒対策も考慮した冬山装備が必要です。</p>
長野県	美ヶ原	2034	<p>冬季は車道が閉鎖されていますので、登山者はほとんどいません。</p>
長野県	霧ヶ峰	1925	<p>美ヶ原の南東約14kmに位置する火山台地で、北方に鷲ヶ峰(1,798m)、南方に車山(1,925m)といったピークがあります。</p> <p>冬季は、雪原のスノーシューイング登山者が散見されますが、視界が悪い時は、方向を見失わないように注意が必要です。</p>
長野県 静岡県	聖岳	3013	<p>赤石岳と同様、登山者は少ないので、単独ではアクシデントに対応できません。特に、冬山の場合、悪天候に阻まれ、幾日も行動不能となることが多いので、無理な計画は立てず、余裕のある日程が必要です。</p> <p>聖岳山頂付近は、南面、北面とも滑落事故の発生が非常に多いので注意してください。</p> <p>冬ルートの東尾根は、登山者が少なく、ルートが不明確で迷いやすいため、ルートファインディングに注意してください。 (静岡県情報)</p>
長野県 静岡県	光岳	2591	<p>本谷口から易老渡、さらに易老岳を経て光岳まで、無雪期でもおよそ8時間の行程となります。</p> <p>各ルートともアプローチが長いので余裕を持った計画が必要です。</p> <p>平成21年8月27日光小屋から単独登山者が行方不明になっています。 (静岡県情報)</p>
長野県 静岡県	塩見岳	3047	<p>長野県、静岡県の県境に位置し、アプローチに長時間を要することから、年末年始に登山者が目立つのみで、冬山期間全体でも登山者はわずかです。</p>

			<p>平成18年11月30日三伏峠から塩見岳へ向かったと思われる単独登山者が行方不明になっています。（長野県情報）</p> <p>長野県大鹿村の塩川登山口又は烏倉林道から三伏峠に至るのが冬山コースとして利用されています。</p> <p>天狗岩から塩見岳の間は、アイスパーンとなり易く、滑落事故に対する注意が必要です。</p> <p>蝙蝠岳山頂部は広くなだらかで特徴がなく、吹雪やガスが出ているときは、ルートを見失い易いことから、コンパスやGPSにより方角をしっかりと確認する技術が必要です。</p>
静岡県	悪沢岳	3141	<p>千枚岳西側のガレ場及び悪沢岳の西側は、アイスパーンとなり易く滑落事故に対する注意が必要です。</p>
長野県 静岡県	赤石岳	3120	<p>積雪の程度や天候によっては、ルート途中での予想外の幕営が必要となりますので、装備や食糧は不足のないよう準備して登山しましょう。また、荒天時に備えて、非常食も必ず携行しましょう。</p> <p>夏道の北沢付近は雪崩の危険が高いため通行できません。冬ルートの「ラクダの背」は、やせ尾根で、かつ、上り下りが厳しく、ザイル操作が必要です。</p> <p>赤石岳、小赤石岳付近の静岡県側では、例年大きな雪庇が張出しますので、稜線を歩く際は、踏み抜きに注意が必要です。</p> <p>南アルプス南部の山小屋は、全て封鎖されています。避難小屋として利用する計画のある方は、事前に山小屋管理者に連絡し開放状態を確認してください。</p>
長野県 富山県	五竜岳	2814	<p>五竜岳へのアプローチには、遠見尾根が使われますが、積雪が3～4m以上となります。</p> <p>また、五竜岳を含む後立山連峰は、冬型の気圧配置の場合、吹雪が数日間続くことがあり、吹雪の中を行動し低体温症となったり、大雪のため下山ができず疲労や凍傷等で行動不能となるケースがあります。適切な天候判断により、慎重な行動をしてください。</p> <p>特に、五竜岳山頂は、ホワイトアウトになったとき、富山県側に迷い込むケースが多いので注意が必要です。なお、富山県側からの一般ルートはありません。（長野県情報）</p> <p>平成14年3月、五竜岳大遠見付近で5人パーティが幕営中、テント内の換気不足による一酸化炭素中毒で2人が死亡しています。（長野県情報）</p>

長野県 富山県	鹿島槍ヶ岳	2889	<p>爺ヶ岳東尾根から冷池山荘を経由して、稜線伝いに山頂に至る冬季ルート、赤岩尾根の高千穂平をベースに山頂を目指すルートのほか、天狗尾根、鹿島東尾根からの岩（雪）壁登はんで鹿島槍北峰に登るルートは、いずれも上級者向きのコースで、岩登りと積雪登はんの経験がなければ、困難なルートです。なお、富山県側からの一般ルートはありません。</p> <p style="text-align: right;">（長野県情報）</p> <p>過去、大勢の登山者が遭難しています。</p> <p>昭和49年3月に2件（死亡8人）、昭和52年1月に3件（死亡11人）など大量遭難の記録（長野県警）が多く、その原因は雪崩や悪天候などによるものです。平成11年1月には赤岩尾根付近を下降していた大学生2人が死亡。平成14年は4件（死亡2人、負傷2人）の遭難、平成15年には単独男性が行方不明となり春になって遺体が発見される遭難が発生しています。この山に登る人は確実な気象判断や高度な雪上技術が求められます。</p> <p style="text-align: right;">（長野県情報）</p>
長野県 富山県	鷲羽岳	2924	<p>鷲羽岳は、北アルプス裏銀座の北寄りに位置し、富山県側の西斜面には黒部川の源流があり、黒部ダムに流れ込む水源となっています。</p> <p style="text-align: right;">（富山県情報）</p> <p>烏帽子岳方面から槍ヶ岳に向かって縦走してくるとワリモ岳にある岩苔乗越付近で分岐となり、鷲羽岳の稜線を経て、三俣蓮華の小屋に向かうコースと、黒部の源流沿いにしばらく下って小屋に向かうコースがありますが、冬季は鷲羽岳の稜線を使います。</p> <p>富山県、長野県どちら側からもアプローチが長大なことから、冬山登山者は、ほとんどいません。</p>
長野県 岐阜県	焼岳	2455	<p>行程は短いですが、新中尾峠から焼岳へのルートは雪崩の危険性があり注意が必要です。</p> <p style="text-align: right;">（岐阜県情報）</p> <p>各ルートは、視界不良や積雪により迷いやすいため、十分に注意してください。</p> <p style="text-align: right;">（長野県情報）</p>
長野県 岐阜県	乗鞍岳	3026	<p>北アルプスの最南端に位置する成層火山で、夏から秋にかけての観光客の多さに比べて冬山登山者は少数です。</p> <p>岐阜県側の山岳道路「乗鞍スカイライン」は、例年11月1日から翌年5月14日までの間、冬季閉鎖となる予定です。</p> <p>なお、平成15年6月から、マイカー規制が行われていることから自家用車の乗り入れはできません。</p> <p style="text-align: right;">（岐阜県情報）</p>

			<p>長野県側の「乗鞍エコーライン」も冬季閉鎖となります。</p> <p>山岳地帯は、降雪量が多く、雪崩の危険がありますので注意が必要です。</p> <p>位ヶ原をはじめ乗鞍岳一帯は、視界不良時にルートを見失い、沢筋に迷い込むことがあり、悪天候時の行動は要注意です。平成19年3月には、山スキーヤーがルートを誤り、谷筋に迷い込み滑落する死亡事故が発生しています。</p>
長野県 岐阜県	御嶽山	3067	<p>日本三大霊山の1つです。登山道は整備されていますが、冬季間は積雪量が多く、かなりの時間を要することから余裕を持った登山計画を立ててください。</p> <p>山頂部の縦走は通称「お鉢めぐり」と呼ばれて人気がありますが、高山ですので天候の変化には十分注意が必要です。</p> <p>「五ノ池小屋」は例年10月16日から翌年5月31日まで閉鎖されます。 (岐阜県情報)</p> <p>御岳ロープウェイスキー場又は御岳スキー場を経て、山頂を目指しますが、強風で雪面がクラストしているので、アイゼン歩行は慎重に行いましょう。また、悪天候時にはルートを見失ったり、自分の位置が分からなくなるので、注意が必要です。</p>
長野県 岐阜県	恵那山	2191	<p>一般的には、岐阜県中津川から川上地区を経て、山頂に向かうコースが利用されています。 (岐阜県情報)</p> <p>長野県側からは、神坂峠、烏越峠を経由するルートと、阿智村からの「広河原ルート」がありますが、いずれも長時間を要し、積雪時はルートを見失い、道に迷う危険性があります。 (長野県情報)</p> <p>例年12月頃から翌年の4月下旬頃までは積雪があり、完全な冬山装備が必要となります。吹き溜まりも所々にあり通常の倍以上の行動時間を必要とします。 (岐阜県情報)</p> <p>黒井沢林道(登山口～山頂まで約6.5キロ・所要時間約3～4時間)は11月2日から翌年の3月31日まで通行止めになります。 (岐阜県情報)</p>
長野県 岐阜県	槍ヶ岳	3180	<p>新穂高から飛騨乗越に至る右俣谷コースの全ルートは雪崩の危険性があり、注意が必要です。特に、チビ谷、滝谷、南沢の谷筋は危険です。 (岐阜県情報)</p> <p>平成19年12月31日には、槍ヶ岳及び南岳直下の槍平小屋付近でテント泊中の越年登山者のグループが雪崩に巻き込まれ、4名の尊い命が奪われています。 (岐阜県情報)</p>

			<p>平成19年12月31日には、槍ヶ岳及び南岳直下の槍平小屋付近でテント泊中の越年登山者のグループが雪崩に巻き込まれ、4名の尊い命が奪われています。(岐阜県情報)</p> <p>長野県側から冬季に槍ヶ岳に登山するには、北鎌尾根、東鎌尾根、横尾尾根、硫黄尾根がルートに使われていますが、いずれの尾根も、やせた尾根の積雪歩行であり、十分な装備、日程を必要とし、高度な登山技術と判断力も要求されます。槍沢は、雪崩の危険性が高いので、立ち入らないでください。(長野県情報)</p>
長野県 岐阜県	穂高岳	3190	<p>穂高岳は、奥穂高(3,190m)、北穂高(3,106m)、前穂高(3,090m)、西穂高(2,909m)、涸沢岳(3,110m)に大別され、最も標高の高いのが奥穂高岳で、富士山(3,776m)、北岳(3,192m)に次いで、日本第3位の標高です。</p> <p>奥穂高岳に至るには、岐阜県側の涸沢岳西尾根から涸沢岳に登り、ここから稜線沿いに奥穂高岳を目指します。夏山のように、涸沢カールからザイテングラードを登るコースは雪崩の危険があるため立ち入らないでください。(長野県情報)</p> <p>前穂高岳へは、上高地から徳沢を経て、北尾根からのルートと、明神岳を経由して登頂するルートがありますが、どちらもやせた尾根の岩陵帯登山であり、豊富な雪上経験と高度な冬山技術が要求されます。(長野県情報)</p> <p>西穂高独標から奥穂高方面へのルートは日本屈指の難ルートで、遭難が多発しており、特に西穂高岳一帯の稜線は、岐阜側から長野側へ雪びが張り出すところがあり、この雪庇の踏み抜きによる転落に注意が必要です。(長野県情報)</p> <p>南岳新道は修復されましたが、登りでは南沢から西尾根の取付でのテープの確認、下りでのヤセ尾根の通行に注意が必要です。(岐阜県情報)</p> <p>滝谷一帯は落石や雪崩が多く非常に危険で、岐阜県山岳遭難防止対策協議会では、同所を危険地帯に指定しております。過去にも多数の遭難事故が発生しております。(岐阜県情報)</p> <p>冬ルートとしては、涸沢岳の西尾根のルートが代表的であり、過去には蒲田富士付近の雪庇踏み抜きによる遭難が発生しております。(岐阜県情報)</p> <p>穂高岳のなかでも冬山登山者が多いのは、西穂高岳です。</p> <p>新穂高温泉からロープウェイを利用し、山頂駅から歩いて1時間50分くらいで西穂山荘に到着しますが、冬季はその2～3倍かかることもあります。(岐阜県情報)</p> <p>冬山経験の浅い登山者は、山荘と西穂独標の間にある丸</p>

			<p>山辺りで引き返すことも視野に入れてください。独標から先の西穂高岳を目指す人は、ザイルの携行はもちろん雪庇の見極めや凍結した雪面を確実にアイゼン歩行できる技術が必要です。このルートはヤセ尾根のアップダウンが連続し、常に緊張を強いられることから、経験未熟な登山者は、安全なポイントで早めに引き返すことが重要です。（岐阜県情報）</p>
静岡県	天城山	1406	<p>温暖な伊豆の山ですが、厳冬期には0.5～1mの積雪になることもあります。軽アイゼンなど冬山装備も携行してください。</p> <p>万三郎岳から潤沢分岐の間で道迷いや滑落事故が発生しています。降雪後はルートが追えない場合がありますので、特に、注意してください。</p>
富山県	劔岳	2999	<p>富山県登山届出条例により、12月1日から翌年5月15日までの間、登山する20日前までに登山届の提出が義務付けられています。</p> <p>所定の様式により、下記へ提出して下さい。</p> <p>〒930 - 8501 富山市新総曲輪 1 - 7 富山県自然保護課 (電話 076 - 431 - 4111)</p> <p>平成13年1月は、豪雪により5件6パーティ15名の大量遭難が発生しました。このうち、内蔵助谷を下山中の2パーティ3名が雪崩に巻き込まれ死亡しました。</p> <p>長野県側からの入山は、後立山連峰越えをしなければならず(関電トンネルは、完全閉鎖)、黒部峡谷や劔沢は雪崩の巣でたいへん危険です。尾根は長大なルートで過酷なラッセルを強いられエスケープルートもほとんどなく、天候次第で孤立する恐れがあります。十分な冬山経験と体力、気力、技術が必要で、地域研究をした上でパーティを組んで入山してください。</p> <p>冬の劔岳登山の主なルートは、上市町馬場島から早月尾根です。交通機関は、タクシー利用が多く、途中の伊折地内で下車となり、そこから馬場島まで徒歩で1日かかります。</p> <p>冬の劔岳登山は、冬山経験が必要であり、体力、気力、技術が伴わないと登れません。標高2,200m早月小屋まではラッセルが深く、そこから上部は雪稜となり、ロープで確保しながらアイゼン、ピッケルを活用しなければならず、登山経験豊富なリーダーの下、パーティを組んで登山してください。</p>

富山県	立山 <small>おおなんじ</small> （大汝山）	3015	山岳交通機関が休止していることから、立山駅の千寿ヶ原から室堂平までアプローチが長く、過酷なラッセルを強いられ、ほとんど登山者はいません。登山される場合は、パーティを組んで、ペナントを立て、引き返すルートを確認しながら登山して下さい。広大な高原で天候次第では、ルートが分からず、孤立するおそれがあります。
富山県	薬師岳	2926	太郎平から薬師岳への山稜は、なだらかで尾根幅が広いいため、悪天候時はホワイトアウトになりやすく、ルートを間違えやすいため、ペナントを立てるなど引き返すルートを確認しながら登山してください。
富山県	黒岳(水晶岳)	2986	アプローチが長大なことから、ベテランであっても、余裕を持った日数と装備、非常食等がなければ登山をすることはできません。一度、荒れると道迷いや孤立する可能性も十分にあります。冬山登山者は、ほとんどいませんので、極力登山を避けてください。
富山県 岐阜県	黒部五郎岳	2840	上宝町新穂高や神岡町打保から向かう場合、行程が長くなり、疲労から行動に支障が出る場合があるので注意が必要です。また、比較的なだらかな三俣蓮華付近は、ガス等により方向を見失いやすいので注意が必要です。（岐阜県情報） アプローチが長大なことから、富山県側からの冬山登山者は、ほとんどいません。
石川県 岐阜県	白山	2702	白山頂上に通じる登山ルートは、どのルートも冬季間は山中泊を必要とする長距離であるため、十分な装備が必要です。 例年11月中旬ころには、白山頂上付近の「室堂」、「弥陀ヶ原」一帯には積雪があります。多いところは1mを越えますので、ピッケル、アイゼン等冬山装備を確実に携行してください。 また、本格的な積雪期に入ると、例年、「砂防新道」ルートにおける「黒ボコ岩」付近は急斜面で危険な状態となります。（石川県情報） 天候状況等を考慮して「甚ノ助小屋」から南竜・黒ボコ分岐点を経由し、「エコーライン」から「室堂」に至るルートを利用してください。（石川県情報） 頂上付近は、例年風雪がひどく、また、弥陀ヶ原は広いので道に迷う危険性が高くなります。気象情報によく注意する

			<p>ことが重要です。天候の急変にご注意ください。</p> <p>また、白山は日本海に近いことから冬季間は荒天の日が多く、登山日数が予定よりも長くなる場合があることから、十分な予備装備・予備日等が必要です。</p> <p>白山室堂の営業期間（例年5月1日から10月15日ころ）以外は、室堂の「白山荘」が避難小屋として開放されていますので、登山される際は、その位置を地図などで事前に確認しておいてください。</p> <p>山岳道路「白山スーパー林道」は本年も11月中旬から翌年6月上旬までの間、冬季閉鎖となり人の通行・車両の乗り入れはできません。</p> <p>別当出合登山口に通じる、主要地方道白山公園線や岩間一里野線が、冬季間通行止めとなり、崩落及び雪崩の危険性があるほか、山岳地帯は降雪量が多く、雪崩の危険性がありますので登山には十分注意が必要です。</p> <p>出発前には、必ず登山口までの道路状況や山小屋等の施設状況に関する情報を確認してください。</p>
福井県	荒島岳	1523	<p>例年11月初旬に初雪が降り、12月中旬頃から根雪となります。積雪は多いところで2m以上、山頂は1.5mになります。</p> <p>積雪のある冬季間は「勝原コース」以外の3コースを利用する登山者はほとんどいません。</p> <p>「勝原コース」は勾配の急な道が続くため、雨上がりなどは滑りやすいので注意してください。</p> <p>「下山コース」は上級者向けです。急斜面にはスリップ防止のため鉄棒が打ってありますが、怪我や落石の危険があります。特に、「まぼろしの大垂（大滝）」付近は急斜面で滑落の危険があります。夜間の下山では集落の灯りが見えますが、これを目標にすると登山道はずれ、転落するおそれがあります。（平成21年2月に登山者1人が滑落し死亡する事故が発生しています。）</p> <p>「佐開コース」は初、中級者向けですが、山頂付近はヤセ尾根で道幅が狭く、特に冬場は凍結のため滑落の危険があります。</p>
	大長山	1671	<p>一般的なルートとして知られる、取立山 - 大長山 - 赤兎山の登山ルートは急峻な斜面やガラ場も少なく、人気コースの一つですが、過去に、気象状況の悪化により、大学生パーティ14人が山頂付近の急斜面で孤立するという事案が発生しています。降雪期の登山は、十分な計画と、装備品・気象情報</p>

			の確認が重要です。
岐阜県	笠ヶ岳	2897	<p>笠ヶ岳から抜戸・弓折岳までの稜線上は雪庇が連続発生するので注意が必要です。</p> <p>行程が長く、十分な体力が必要です。</p> <p>冬はほとんど登山者はいません。</p> <p>平成18年4月には直下の「穴毛谷」で山スキーヤー等を巻き込む大規模な雪崩が発生し、4名の尊い命が奪われています。</p> <p>岐阜県山岳遭難防止対策協議会は、穴毛谷地域一帯を、積雪期における危険地域に指定しています。</p>
岐阜県 滋賀県	伊吹山	1377	<p>登山道路「伊吹山ドライブウェイ」の入り口は岐阜県側にありますが、同道路は本年12月初旬頃から翌年の4月中旬頃まで積雪のため閉鎖される予定です。 (岐阜県情報)</p> <p>伊吹山は、日本最高積雪の11.82メートルを記録した豪雪地であり十分な服装、装備が必要です。 (滋賀県情報)</p>
三重県 奈良県	大台ヶ原 日出ヶ岳	1695	<p>三重県側は、平成16年9月の台風21号の被害等により、大杉溪谷の三重県側登山口(第三発電所)から堂倉避難小屋までの間が通行禁止となっています。現在のところ復旧の見込みが立っていません。 (三重県情報)</p> <p>大台ヶ原ドライブウェイ(約11km)は、積雪及び凍結のため、H21.12.1～H22.4.22の期間通行止めとなります。 (奈良県情報)</p>
奈良県	大峰山系 大普賢岳 行者還岳 八経ヶ岳 弥山 釈迦ヶ岳	1780 1546 1915 1895 1800	<p>国道309号線、天川村北角～行者還トンネル～上北山村西原の間(約16km)は、積雪及び凍結のため、H21.12.15～H22.4.15の期間通行止めとなります。</p> <p>国道425号、下北山村浦向の(白谷トンネル)(1km)は、トンネル抗口に凍結による通行障害物ができるため、H21.12.17～H22.3.19の期間通行止めとなります。</p> <p>十津川村への通り抜けはできません。</p> <p>主要地方道洞川下市線・天川村洞川～黒滝村中戸(5.4km)は、積雪及び凍結のため、H21.12.9～H22.3.29の期間通行止めとなります。</p> <p>主要地方道大峰山公園線・天川村洞川(1.1km)(大峰母公堂から奥の区間)は、積雪及び凍結のため、H22.1.7～H22.4.4の期間通行止めとなります。</p> <p>大峰山系の登山道は、鉄製橋や鉄製階段が多く、特に冬場</p>

			<p>は凍結で滑りやすいので、十分注意してください。</p> <p>大普賢岳～弥山～釈迦ヶ岳にかけての大峯奥駈道縦走は健脚者向きです。</p>
滋賀県	比良山系 武奈ヶ岳 釈迦岳	1214 1060	<p>比良山系は1,000m級の山ですが、冬季は、日本海側からの季節風の影響で2 m以上積雪することもあり、3,000m級の山に匹敵する厳しい条件になります。</p> <p>平成20年2月には、日帰り計画で入山した3人のパーティが降雪の影響で、2夜ビバークし救助されています。余裕を持った計画を立て、十分な装備を携行する必要があります。</p> <p>比良索道（リフト、ロープウェイ）は廃止されています。</p>
鳥取県	<small>だいせん</small> 大山	1709	<p>標高は1,709mの独立峰です。</p> <p>冬季は季節風と積雪の影響を受け、3,000m級の山に匹敵する厳しい条件となりますので、万全の冬山装備が必要です。</p> <p>北壁はトロイデ火山の内側に当たり、好天時は比較的平穏ですが、稜線に出ると突風が吹荒れ、視界がまったく利かないこともありますので注意が必要です。</p> <p>平成20年12月に大山の稜線を登山中の男性が視界不良（ホワイトアウト）となり、足を踏み外し滑落する事故が発生しました。</p> <p>平成6年以降登山中雪崩に巻き込まれる事故は発生していませんが、毎年多くのデブリ（雪崩で押し出された雪塊）が見られますので、注意が必要です。</p>
広島県	<small>おそらかんざん</small> 恐羅漢山	1346	<p>広島県の北西部に位置する広島県内最高峰（標高1,346m）で、登山ルートは複数ありますが、隣接する旧羅漢山から尾根伝いに西方に伸びる広見林道は道に迷いやすく注意が必要です。</p> <p>また、冬季は天候が急変し吹雪となりやすく、凍結による滑落事故の危険があります。</p> <p>山頂付近にはスキー場が2カ所ありますが、平成20年2月、国設恐羅漢スキー場に来ていたスノーボーダーが、コースを外れて山頂付近で外滑走中に下山路がわからなくなり、遭難する事案が発生しました。</p> <p>スキーコース外に出ることは、携帯電話の通話も困難となることから、非常に危険です。</p>
徳島県	剣山	1955	<p>比較的登山をしやすい山ですが、過去に登山途中、滑落による遭難が発生しています。また、冬場は降雪に加え、凍結</p>

			部分が生じる場合もありますので、十分な装備と慎重な登山をしてください。
徳島県 高知県	三嶺 (さんれい・ みうね)	1893	<p>比較的登山しやすい山渓です。 岩場等の危険箇所はありませんが、急坂があり、過去には滑落事故も発生しています。 積雪期にはアイゼン等の登山用具の準備が必要です。 (徳島県情報)</p> <p>高知県側のフスベヨリ谷ルートは、平成17年9月の台風14号の大雨の影響により橋の流出箇所や登山道の崩壊箇所が多数ありますので、このコースの登山は控えてください。三嶺登山は、白髪山コース又はさおりが原コースを利用してください。 (高知県情報)</p>
愛媛県	石鎚山	1982	<p>石鎚スカイラインは、例年12月1日から翌年3月末日まで閉鎖されます。 (愛媛県情報)</p> <p>例年12月中旬ごろから翌年4月末ごろまで、積雪があります。1月～3月の平均積雪は1～2mになります。雪質は重く、少し気温が上がるとラッセルはもちろん、歩行も困難になります。 (愛媛県情報)</p> <p>冬山の登山ルートは、成就社ルートが一般的です。ロープウェイは通年営業しています。 (愛媛県情報)</p> <p>面河道では、中腹の「愛大小屋」を立て替え新築しており、避難小屋として誰でも利用できます。このルートは、ロングルートの上、雪の状態により、ラッセルの連続になります。雪崩にも注意が必要です。初心者同士若しくは、単独登山は避けてください。 (愛媛県情報)</p> <p>その他のコースも、積雪の状態によっては、1日で山頂まで登頂できないことがあります。特に、土小屋ルートでは、積雪の多い場合は、雪崩に十分注意が必要です。メンバー、装備、食糧等十分な準備をしてください。 (愛媛県情報)</p> <p>どのルートから登山しても、「二の鎖」から上は、天候、雪の状態等すべてが急変します。特に、「二の鎖」「三の鎖」の巻き道ではアイスバーン状の箇所が多くなり、滑落の危険があります。また、過去には「二の鎖」西側のルンゼで表層雪崩の発生があり、登山中の数名が流され、1名が負傷しています。雪崩にも十分注意してください。 (愛媛県情報)</p> <p>登山経験のないパーティは、「二の鎖」から上の登山では無理をしないでください。 (愛媛県情報)</p>

愛媛県	赤石山系 東赤石山 西赤石山 二ツ岳	1706 1626 1647	<p>東赤石山の登山には、筏津登山口・床鍋登山口が一般的です。旧土居町側の河又登山口からはアプローチがやや長くなります。積雪の状況によっては日帰り登山が難しくなります。</p> <p>東赤石山頂から八巻山にかけては、積雪と岩場の凍結、ルートの間違いに十分注意してください。</p> <p>西赤石には、鹿森ダム(遠登志橋)登山口も日浦(旧別子)登山口も危険箇所は比較的少ないですが、銅山越から西赤石山頂までは、岩場での積雪・凍結に注意してください。</p> <p>二ツ岳へは、旧別子側の肉淵から肉淵林道終点登山口と旧土居町側の中の川登山口が一般的ですが、いずれも峨蔵越から山頂にかけては岩場が多く積雪・凍結による滑落等に注意してください。</p> <p>赤石山系の標高はそれほど高くありませんが、いずれのルートも岩場が多いため冬山の装備をしっかりと整えるとともに、初心者同士の単独登山を避けて経験豊富なリーダーと登山してください。</p>
福岡	ひこさん 英彦山	北岳 1195 中岳 1188 南岳 1199	<p>登山コースとしては、銅製の鳥居でできた通称「銅の鳥居(かねのとりのい)」から石段の参道を登り、「奉弊殿」を経て中岳に至るのが最もベーシックなものです。しかし、途中2カ所の鎖場があり、石段は不規則な幅と高さで、かつ急配であることから、積雪時には足を滑らせて転倒すると大けがにつながるおそれがあるなど、油断のならないコースです。</p> <p>他に「豊前坊高住神社」から「望雲台」を経由し、北岳、中岳に至るコースと、「奉弊殿」から「鬼杉」を経て南岳、中岳に至るコースがありますが、いずれも経験のある方と登るのが安全だと思われます。</p> <p>特に、「豊前坊高住神社」から「北岳」に至るコースは、途中険しい鎖場があり、平成20年11月に、このコースにおいて2件の山岳遭難(いずれも重傷)が発生していますので、綿密な計画としっかりした装備での登山をお願いします。</p>
熊本県	阿蘇山	高岳 1592 根子岳 1433 中岳 1506	<p>二重カルデラ火山として世界的に有名な阿蘇中岳をはじめ、阿蘇高岳及び阿蘇根子岳には、年間を通じて多くの観光客と登山者が訪れますが、阿蘇山系は、火山岩で山肌がもろく、特に、阿蘇根子岳は、崩れやすい岩場や浮き石が多いことから、登山には細心の注意が必要です。</p> <p>また、阿蘇高岳北尾根(鷲が峰ルート)、阿蘇根子岳(天狗岩～西峰ルート)は、難度の高い岩場が続き、高度の登山技術が必要であるほか、自然崩落も著しく、現在「縦走禁止」</p>

			<p>等の看板が立てられています。</p> <p>阿蘇山系での山岳遭難は、平成16年～平成20年までの5年間で、発生15件・遭難者17人(うち死亡3人)となっており、死亡された3名は、阿蘇高岳北尾根(1人)、阿蘇高岳(1人)、南阿蘇(1人)での遭難です。</p> <p>なお、本年(21年)は10月までに阿蘇山系で4件発生しています。</p> <p>登山を楽しむためには、自分の技量や体力にあった登山に努め、決して無理をしないことが最も重要です。また、登山口には登山届ボックスが設置されていますので、必ず「登山届」を提出してください。</p>
大分県	くじゅう連山	<p>中岳 1791</p> <p>久住山 1787</p> <p>大船山 1787</p> <p>三俣山 1744</p>	<p>交通の便がよく比較的登山しやすい山岳であるため、冬場であってもハイキング感覚の軽装備で登山する人が多く、それに起因する遭難が発生しています。防寒着やアイゼンなど冬山用の装備を万全に準備した上で登山しましょう。</p> <p>雨具やヘッドライト、簡単なビバーク装備等も携行してください。</p> <p>くじゅう山系では浮石が多く、下山中に転倒し足首を骨折する事故が多発しています。下山時は細心の注意をしてください。</p> <p>指山を越えて三俣山北峰に通じる登山道は、平成17年の台風による土石流で、コースが寸断されているため、登山道の閉鎖措置を行っています。非常に危険ですので、立ち入らないでください。</p> <p>坊ガツルから長者原に向かう途中の雨ヶ池越コースでは、雨ヶ池手前付近にある分かれ道で左側の登山コースに進むと三俣山北側の雑木林に迷い込みますので、直進してください。</p> <p>もし、迷い込んだらススキの中を長者原方向に向かって右側に進めば正規の登山道に出ます。左側方向は迷い込んで危険です。</p> <p>同所付近では、地図でよく確認しながら登山してください。 「迷ったな」と思ったら、早めに引き返す勇気を。</p> <p>長者原から雨ヶ池に向かうコースは、平成17年の台風により土石流が発生し、コースが2カ所寸断されました。その後、コースは関係者の献身的な努力により復旧しましたが、旧コースと全く違うコースになっている部分もありますので、目印と標識をよく確認しながら進んでください。旧コースに比べると歩きやすいコースとなっています。</p> <p>沢水(そうみ)登山口から稲星山に向かう登山コースは、</p>

			<p>岩場が多いので、登（下）山時は十分注意してください。</p> <p>くじゅう山系では大部分の場所で携帯電話が通じますので必ず、携帯電話（GPS付き）等を携帯してください。</p> <p>瀬の本登山口から扇ヶ鼻にいたる登山道は、冬場は落ち葉により登山道がわかりにくくなります。目印のテープに沿って登山してください。</p> <p>本山登山道の稲星山・鳴子山分岐点付近では、崩土箇所があり、鳴子山へ直接登ることはできません。誘導ロープに沿って登山してください。</p> <p>赤川登山道は、雨のため橋が流失している箇所があります。飛び石で渡ることができますが、降雨時は、扇ヶ鼻コースへ迂回してください。</p> <p>大船山の板切登山口からの登山は、登山道が不明確になっています。他の登山口からの入山を勧めます。</p>
大分県	祖母・傾山系	<p>祖母山 1757</p> <p>傾山 1605</p>	<p>祖母・傾山系は、急峻で難コースが多く、登山道を外れて滑落・転落したり、道に迷うといった遭難事故が発生しています。</p> <p>平成21年11月に、障子岩尾根の通称鹿ノ瀬において、登山道を外れ転落（死亡）する事故が起きています。</p> <p>祖母山頂から、傾山に向けて約100m地点の「はしご」設置箇所は、滑（転）落のおそれがある危険箇所です。十分注意してください。</p> <p>三ツ坊主コースは、岩場が多く、滑（転）落のおそれがある危険箇所です。十分注意してください。</p> <p>九折コースの観音滝は、転落事故の多発地点です。滝周辺の通過時は、十分注意してください。また、九折林道は、台風の影響により登山口付近が寸断されており、同所からの車両による通行が不可能です。</p> <p>西山登山口から山頂までのコースは、ほとんどが急勾配で約3時間くらいかかり体力が必要です。ゆとりある登山計画を立ててください。</p> <p>祖母山から傾山の縦走は、長距離であり、急峻であるため、強靱な体力を必要とします。初心者や高齢者は十分注意してください。</p> <p>祖母傾山系では、無線機や携帯電話の電波の届かないところが多くあります。電池の消費も激しいので注意が必要です。</p>
大分県	由布、鶴見山系	鶴見岳 1375	<p>由布岳西峯と東峰を回るお鉢巡りコースのウバコウジという北側河口付近の岩場は凍結するため、冬場は必ずアイゼン</p>

			<p>を着用してください。</p> <p>鶴見岳山頂から鞍ガ戸～内山～塚原に向かう縦走ルートの「船底」付近では道迷いによる遭難事故が発生しています。案内標識を確認してください。</p> <p>山頂のNHK鉄塔付近の崖は浮き石などに注意し、つまずき等による転落に気をつけてください。平成19年には、同鉄塔から北東約50メートルの崖下へ転落（死亡）事故も起きています。</p>
宮崎県 鹿児島県	霧島山系	韓国岳 1700	<p>霧島山系の高千穂峰（1,574m）の登山道は火山礫で覆われて、足場が悪く、特に下山時は注意が必要です。 （宮崎県情報）</p> <p>韓国岳の火口は直径800m、深さ300mの断崖絶壁であることから、注意が必要です。</p> <p>新燃岳、御鉢も登山道の直ぐ近くに火口が開いていることから転落には、特に注意が必要です。（宮崎県情報）</p> <p>南九州の山ですが、厳冬期は最大10cm前後の積雪となることがあるので、スリップ事故にも注意が必要です。</p> <p>平成21年11月11日現在で、霧島山系では6件9名の遭難事故が発生しており、ヘリコプターによる捜索活動等を実施しましたが、うち1件が死亡事故となりました。 （宮崎県・鹿児島県情報）</p> <p>縦走コースは、硫黄山登山口～韓国岳～獅子戸岳～新燃岳～中岳～高千穂河原が一般的です。（逆コースは高低差があり体力を必要とします。） （宮崎県情報）</p>
鹿児島県	開聞岳	922	<p>「薩摩富士」と呼ばれ、海岸に突き出た独立峰で、山麓から2時間程度で登頂できます。</p> <p>登山道は軽石、火山礫に覆われ足場の悪い所が多く、特に下山時は注意が必要です。</p> <p>平成21年は3月に下山中の女性が登山道から足を踏み外して転倒し足を骨折するなど、10月末現在で5件の遭難事故が発生しています。</p>
鹿児島県	宮之浦岳	1936	<p>宮之浦岳は、九州の最高峰です。</p> <p>十分な装備とゆとりある計画を立ててください。</p> <p>淀川登山口から宮之浦岳を往復するには徒歩で約10時間を要するので十分な体力が必要です。冬山シーズンの日暮れは早いので余裕ある計画を立てましょう。</p> <p>海岸部で天候が良くても、山間部の天候は急変することが</p>

ら登山用の雨具（軽易な雨具は不可、山間部の年間雨量約1万ミリ）は必需品です。また、日帰りでも非常食、懐中電灯、警笛を持参することや通信手段として携帯電話等が必要です。

登山道からはずれないでください。

屋久島の山は原生林のため道に迷いやすく、いったん登山道から離れると遭難するおそれがあります。

道に迷ったら、尾根伝いに山頂を目指せば必ず登山道に出ます。沢伝いに川を下ることは、滝が多くて大変危険ですから沢へは降りないでください。

平成5年以降7人が行方不明となっています。

降雪はいわゆるべた雪でアイゼンでの歩行は困難を極めること、山頂付近は猛烈な風が吹き荒れること、積雪により登山道が不明確になること等から、降雪時の山頂への登山はたいへん危険です。

平成21年は登山道を間違えて下山出来なくなるなど、10月末現在で6件の遭難事故が発生しています。